

第八十一回帝國議會
衆議院

藥事法案外二件委員會會議錄(速記)第九回

付託議案
藥事法案(政府提出、貴族院送付)
(第六三號)
船員保險法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
(第六四號)
軍事扶助法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)
(第六五號)

昭和十八年二月二十五日(木曜日)午前十時
十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 清水留三郎君

理事大石 齊治君 理事勝又 春一君

理事小泉 純也君 理事田中 藤作君

理事竹内 俊吉君 理事渡邊 健君

赤間 德壽君 逢澤 寛君

伊藤東一郎君 池本甚四郎君

今牧 嘉雄君 上田 孝吉君

大島 寅吉君 木崎 爲之君

岸田 正記君 齋藤 憲三君

佐藤 芳男君 菅又 薫君

杉山元治郎君 武知 勇記君

中井 一夫君 西尾 末廣君

坂東幸太郎君 深澤豊太郎君

藤生安太郎君 藤本 捨助君

星 一君 松本治一郎君

深澤 吉平君 正木 清君

三宅 正一君 山崎 常吉君

出席國務大臣左ノ如シ

厚生大臣 小泉 親彦君

出席政府委員左ノ如シ

厚生次官 武井 群嗣君

厚生省衛生局長 灘尾 弘吉君

厚生省保險局長 平井 章君

軍事保護院副總裁 藤原 孝夫君

軍事保護院援護局長 高辻 武邦君

軍事保護院業務局長 大坪 保雄君

厚生書記官 青柳 一郎君

厚生書記官 木村忠二郎君
厚生書記官 菊池 武夫君
軍事保護院書記官 杉山 俊郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

藥事法案(政府提出、貴族院送付)

船員保險法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

軍事扶助法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

族院送付)

○清水委員長 是ヨリ藥事法案外二件委員

會ヲ開會致シマス、船員保險法中改正法律

案ニ付キマシテ、渡邊委員ヨリノ質疑ガ殘

ツテ居リマス、此ノ場合渡邊君ニ許シマ

ス——渡邊君

○渡邊(健)委員 國策ト致シマシテ三年間

ニ全國内ニ國民健康保險ヲ布イデ、全國七

萬ノ醫師ガ全部保險醫トシテ之ニ參加スル、

茲ニ日本ノ劃期的ナ醫療體制ガ整ツテ來

ルコトニナツテ居リマス、各市町村トモ國

民健康保險ヲ布クベク着々準備シテ居ツテ、

非常ナ勢ヒデ普及ヲ見テ居ルコトハ洵ニ慶

賀ニ堪ヘナイ次第アルト思ヒマス、サウ

シテ此ノ制度ガ圓滿ナル發達ヲ遂ゲルカド

ウカト云フコトハ、今後ノ日本ノ國民衛生

上重大ナ關係ガアルモノデアリマシテ、其

ノ大部分ノ責任ヲ擔フノ誰カト云ツタラ、

地方ノ開業醫デアルト私ハ考ヘルノデアリ

マス、此ノ國民健康保險ヲ施行スルニ當リ

マシテハ、開業醫ガ喜ンデ之ニ協力スルカ、

厭ヤ——ナガラ協力スルカ、政府ノ意向ダ
カラ仕方ナシニ協力スルカト云フ、此ノ何
レカニ依ツテ其ノ成功不成功ノ途ガ岐レル
ト言ツテモ私ハ差支ヘナイト思ヒマス、斯

ウシタ重大ナ關係ニアル開業醫ニ對シテ、

政府ハ如何ニシタラ喜ンデ協力スルコトガ

出來ルカト云フ考ヘノ下ニ、其ノ施策ヲヤ

ツテヤルト云フヤウナコトモ必要デヤナイ

カ、斯ウ思フノデアリマス、其ノ意味デ私

ハ是カラノ質問ヲ續ケテ行キタイト思フノ

デアリマス

昨日モ斯ウシタ觀點カラ、現在ノ保險制

度ガ餘リ多種多樣デ、開業醫ニ取ツテハ洵

ニ煩ニ堪ヘナイノデアリマシテ、其ノ形式

又手續等、政府ハ着々其ノ手續ヲ簡易化シ

テ行キ、又保險ノ各種負擔率ヲ統一シテ行

ト云フコトデアリマスカラ、此ノ方ハ段々

簡易化サシテ行クコトデアルト考ヘマスガ、

私ハ第一ニ査定ノ問題ヲ考ヘテ見タイト思

フノデアリマス、現在國民健康保險ニシテ、

普通ノ健康保險ニシテ、各月ノ診療報告書

ヲ出シテ、ソレヲ郡醫師會ガ總メ、又ソレ

ヲ縣醫師會ガ總メテ、毎月一回診療ガ適當

デアアルヤ否ヤト云フコトヲ査定シテ居ルノ

デアリマス、此ノ査定ハ今後トモズツト續

ケテ行ク御方針デアアルカドウカ、御伺ヒシ

タイト思ヒマス

○平井政府委員 御答ヘテ申上ゲマス、國

體診療ノ醫療費ヲ御拂ヒスル場合ニ於キマ

シテ、査定ハ絕對ニ廢止スル譯ニハ參ラナ

イト思ヒマス、個人ガ拂ヒマス場合ニ於キ
マシテモ内容ヲ調査シテ拂ヒマス關係ガア
リマスノデ、況シテヤ數萬人、或ハ數百萬人

ノ診療費ヲ一手ニ御拂ヒスル場合ニ於キマ

シテ、其ノ請求ニ過チガアリハシナイカト

云フヤウナ點モ調ベナケレバナリマセスシ、

計算ノ過チガアリハシナイカト云フヤウナ

點モアリマスシ、更ニ又或ハ不必要ナ診療

ガ行ハレルノデハナイカト云フ點モ懸念サ

レマスノデ、査定ハ依然トシテ行ハナケレ

バ相成ラスモノト思ツテ居リマス、但シ今

年マデノ査定ト、來年度以後ノ査定トハ非

常ニ其ノ性質ガ變ツテ來ルノデアリマシテ、

同ジ査定ト申シマシテモ、本年度マデノ査

定ト、來年度以降ノ査定トハ大變ナ違ヒガ

アルト云フコトヲ特ニ申シテタイト思フノ

デアリマス、ソレハ今年マデノ査定ハ診療

ノ契約ニ基イテ行ハレルモノデアリマシテ、

診療ノ契約内容ヲ簡單ニ申上ゲマセヌト御

分リニナリマセヌデスガ、大體一人八圓何

ガシヲ以テ健康保險デ言ヘバ、三百人ノ診

療ヲ日本醫師會ニ引受ケテヤツテ貰ツテ居

ル譯デアリマス、隨ツテ保險醫ノ方々カラ

出ル所ノ請求ヲ總合計致シマシテ、サウシ

テ其ノ別受金額ヲ割リマシテ、按分シテ保

險醫ノ人ニ御分チスルト云フコトニ相成ル

關係上、總額ガ決マツテ居リマスノデ、非

常ニ診療ガ濫ニナリ、或ハ多クナリマス、

自然ニ單價ガ下ル譯デアリマス、左様ニ致

シマシテ、今マデ十錢内外ニマデ單價ガ下

ツタ経験ガアリマスガ、左様ニ單價ガ下リマスコトガ醫師會トシテハ面白カラザル結果ヲ招來スルト云フコトカラ、單價ヲ引上ダルト云フ意味合デ、査定ヲ相當峻嚴ニ行ツテ居ルヤウナ形跡ガアルノデアリマス、左様ナ査定ト云フモノハ十八年度以降ハ皆無ニナルガラウト思ツテ居リマス、ト申シマスノハ、來年度以降ハ診療費ハ厚生大臣ガ決定ヲ致シマシテ、決定シタ基準ニ基イテ御拂ヒスル譯デアリマスノデ、單價ハ確定シテ居リマス、二十錢ト確定シテ居リマスカラ、診療ガ多ケレバ多イダケ二十錢單價ノモノヲ餘計拂フト云フコトニナリマシテ、從來ノヤウニ或ル金額ヲ以テ引受ケテ貰フト云フ關係デヤアリマセヌノデ、來年度以降ハ必要ナ診療ニ付テハ二十錢單價ニ必要ナ額ダケ御拂ヒスルト云フコトニナリマス、從來ノ査定トハ非常ニ性質ガ變ツテ參リマスコトハ御分リ願ヘルト思ヒマスガ、併シ査定其ノモノハ廢止スル譯ニハ參ラスト思ヒマス

○渡邊(健)委員 査定ト云フ事實ハドウモ開業醫ニ取ツテハ何ダカ侮辱サレルヤウナ感ガスルノデアリマス、自分ガ良心的ニ斯ウト信ジタ治療法ガ査定サレテ、不適當ダ、適當ダト云フヤウナコトヲ決メラレルト云フコトハ、開業醫トシテハ可ナリ侮辱感ヲ與ヘラレノデアリマス、査定制度ヲ今後續テ行クトスレバ、是ガ實際的ニ出來ルカドウカト云フコトハ可ナリ疑問ダト思フノデアリマス、例ヘバ現ニ千人ノ開業醫ガアル、一人二百枚ヅツ請求書ヲ出シタトスルト、二十万枚ニナルノデアリマス、現在ノ健康保險ノ監査デ——私モ實際ニ監査ニ携ツテ來タコトモアリマスガ、醫者ハ、午

前中ハ手ガ離セマセスカラ、午後一杯掛ツテヤルノデスガ、一人デ五百枚、サウスルト大體四百人ノ延日數ガ掛ルノデアリマス、是ハ醫者デナケレバ其ノ査定ノ出來ナイコトハ勿論デアリマス、千人ノ開業醫ノ所デ四百人ノ延日數ヲ取ツテ査定ヤルト云フコトハ、是ハ實際上ニ出來ル問題カドウカ、私ハ疑問ダト思ヒマスガ、是ハドシナ風ニシテヤル御積リデアリマスカ、御伺ヒ致シマス

○平井政府委員 査定ト云フコトガ開業醫ヲ非常ニ侮辱スルモノダト云フ御意見デアリマス、私モ同感デアリマシテ、只今申シマシタヤウニ、今年ト來年トハ査定ガ實質的ニ意味ガ違ヒマスノデ、何カ適當ナ言葉ガアレバ査定ト云フ字ヲ變更スル、用語ヲ變ヘルト云フコトモ必要ガアルカト思ツテ居リマス、然ラバ此ノ意味ノ變ツタ査定ト云フモノヲドウ云フ方法ニ依ツテヤルカ、實行不可能ダハナイカト云フ御話カト思ヒマスガ、全部ノ診療報酬請求書ヲ一々克明ニ見テ、理想的ニヤル場合ニ於テハ中々事務ガ多クナリマシテ不可能デアリマス、東京府ノ如キハ一箇月ニ十萬通ノ請求書ガ出マス關係カラ致シマシテ、中々十萬通ヲ一々目ヲ通シテ調査スルト云フコトハ困難デアリマス、併シ醫師會ノ關係者ガ多年經驗シテ居ラレマス、自然ニ自ラ開業醫ノ性格ト云フモノガ分ルト思ヒマス、ソレデ恐ラク大多數ノ人ニ付テハ請求書ハ、計算ハ過チガアルカドウカト云フコトハ調べナケレバナラスト思ヒマスガ、内容マデ深く立入ツテ調べル必要ガ恐ラクナイノデヤナイカ、或ハ小數ノ注意スベキ人ニ付テダケ特ニ拔出シテ見テ行ケバ十分行ハレルモノダ

ト思フノデアリマシテ、出來ルダケ左様ニ致シテ簡便ニ査定ヲ致シテ參リタイト思ツテ居リマス

○渡邊(健)委員 私モ數年間實際ノ査定ニ當ツテ居リマシテ、ヤハリ御説ノ通り、大體此ノ人ハドウモ怪シイ、此ノ人ハ眞面目ダト云フコトハ想像ガ付イテ居リマス、コシナ査定ト云フヤウナコトニ今ノ忙シイ最中ニ一箇月四百人ノ延日數ヲ使ツテヤルヨリモ、醫師會ニ御任セニナツタラドウカト思フノデアリマス、大體醫師仲間デ、監察制度ト云フト言葉ガ惡イカト思ヒマスガ、サウシタ制度ヲ設ケテ、オ互ヒニ啓蒙シ合フト云フ制度ニシテ行ツタラドウカト思フノデアリマス、サウシタ方面ニ、キチンノトヤラズニ、モウ少シ餘裕ヲ與ヘテ下サツタラドウカト思ヒマス、殊ニ新シイ醫師會ガ發足シマシテ、醫道ノ昂揚ト云フ方面ニ非常ナ力ガ入ツテ居ツテ、地方ノ醫師會員モ皆心ヲ入替ヘテ、今度コソハト云フ心持デヤツテ居ル此ノ際デアリマスカラ、此ノ査定ト云フコトニ、斯ウシタ努力ヲ使ハズニ、或ル程度醫師會ニ任セテ戴クト云フ方法ヲ採ツテ戴ク御考ヘハナイカ、此ノ點ヲ伺ヒタイ

○平井政府委員 査定ノ點ハ結局吾々ノ方針トシテモ、醫師會ニ任スコトニ致シテ、最近其ノヤウニ手續ヲ運ビタイト思ツテ居リマス、本來カラ言ヘバ政府ノ金ヲ御拂ヒスルノデアリマスカラ、政府自ラ調べテカラ御拂ヒシナケレバナラスノデスケレドモ、醫師會ニ委嘱致シマシテ、其ノ事務ヲ執ツテ戴キタイト考ヘテ居リマス

○渡邊(健)委員 サウスルトヤハリ一枚一枚醫師會トシテ、査定シナケレバナラスコトニナリマスカ、ソレトモサウシタ手數ヲ掛ケナクテモ、監察制トカ何トカ云フヤウナコトニ依ツテ、大體目星ヲ付ケタ人ニ付テ、醫師會トシテ見テヤルヤウナ程度デ宜イヤウニナリマスカ

○平井政府委員 各道府縣醫師會ノ御確信ノ下ニオヤリ願ヘバ結構デアリマス

○渡邊(健)委員 大體政府ノ御意向ハ分リマシタ、ソレカラ今度一點單價ヲ二十錢ト決メタサウデアリマスガ、其ノ二十錢ト決メタ根據ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○平井政府委員 從來ハ被保險者一人當リ八圓何ガシデ日本醫師會ニ診療一切ヲヤツテ貰ツテ居ツタ、其ノ當時ノ實績ハ一點單價十二、三錢カラ十五、六錢ニ相成ツテ居リマシテ、甚ダ低イノデ、年々是ガ増額ヲ致シマシテ、最近ハ十六錢補償カラ十八錢補償ヲ致シテ參ツテ居ルノデアリマス、ソコデ來年度二十錢ニ引上ゲマシタノハ、從來ノ實績ノ約一割増ト云フノデ、二十錢ト決メタノデアリマス

○渡邊(健)委員 二十錢ト決メタ根據ガソレダケダトスレバ、餘リハツキリシナイト思フノデアリマスガ、何カ他ニ之ヲ二十錢ト決メタ根據ハナイノデアリマスカ

○平井政府委員 從來ノ實績ヲ尊重致シマシテ、其ノ實績ニ或ル程度ノ増加ヲ見ルト云フ計算カラデアリマシテ、只今申上ゲタ通りデアリマス

○渡邊(健)委員 ソレカラ先程聽漏ラシタノデアリマスガ、今マデノ開業醫ノ中ニ、先程モ一寸話ガ出タヤウニ惡徳ノ醫者ガアルト云フコトハ、是ハ洵ニ遺憾デアリマス、斯ウシタ惡徳ノ醫者ニ對シテ、今度ハ査定制度ヲ全廢シテ醫師會ニ御任セニナルト同

時ニ、斯ウシタ惡德醫者ノ罰則モ相當考ヘラレテ宜イノデヤナイカト思ヒマス、殊ニ斯ウシタ國家の事業ノ進展ヲ阻碍スルト云フヤウナ惡德醫者ニ對シテハ、相當峻嚴ナ態度ヲ以テ臨ムベキデアルト私ハ考ヘルノデアリマス、此ノ嚴罰主義ヲ以テ進ムコトガ萬全ノ策トハ言兼ネルト考ヘマスガ、二、三ノ人ノ爲ニ四百人モノ無駄手間ヲ使ハナケレバナラヌト云フコトハ、國家ノ爲ニ非常ニ不利ガト思ヒマス、サウシタ意味カラデモ惡德醫者ニ對シテハ、相當嚴罰ヲ以テ臨ム必要ガアルト思フノデアリマスガ、此ノ點ニ關シテ今マデ通りノ罰則デ行クノデアリマスカ、何カ御考ヘガアリマスカ、御伺ヒ致シタイ

○平井政府委員 惡德ナ開業醫、保險醫ノ罰則ニ付キマシテハ、健康保險關係ノ法令上ハ戒告ヲ加ヘタリ、或ハ保險醫タルコトヲ除名スルト云フ程度デアリマス、併シ報酬ヲ偽ツテ請求シテ領收スルト云フヤウナコトニ相成リマス、今年度マデハ政府カラ日本醫師會ニ御拂ヒシタモノヲ日本醫師會ガ各保險醫ニ分配スルト云フ金ノ授受デアリマスケレドモ、來年度カラハ保險醫ガ直接政府ニ請求ヲ出シテ、政府カラ國費トシテ保險醫ニ支拂フスルト云フ關係ニナリマシテ、公金ノ關係ニナリマスノデ、公金詐取ト云フ刑事上ノ問題モ當然起リマス、隨テソレニ應ジテ又行政處分モ考慮サレルモノト思ツテ居リマス

○渡邊(健)委員 ソレカラ今度二十錢ト決メタト云フコトハ從來ノ實績カラト云フコトデアリマスガ、是ハ健康保險ヲ實績トシタモノデアツテ、今マデノ開業醫ノ報酬規程ガ何處ニモアルト思ヒマスガ、其ノ方ハチツトモ參考ニナサラナカツタノデアリマス

○平井政府委員 各開業醫ノ慣行料金ト云フモノモ多少參考ニハ致シテ居ルノデアリマス、寧ろ國民健康保險ノ關係デ申シマス、今明年ハ町村ニ主トシテ普及シタイ、町村ヲ目當ニシテ普及計畫ヲ立テテ居ル譯デアリマス、市ニ設立ヲ希望セラレル所ガアリマスナラバ、設立セラレマシテモ吾々ハ御認メスル考ヘデ居リマスケレドモ、大體政府ノ方針トシテハ、第一次ニハ今明年ハ町村ニ普及シタイト云フ考ヘデアリマスノデ、町村ニ於ケル所ノ開業醫師ノ診療費ノ收入狀況ト云フモノハ正確ナモノデハアリマセヌガ、アチラコチヲ見マシテ、大體町村ニ於ケル開業醫ガ、從來組合ガナカツタ所ガ新シク組合ガ出來タ場合ニ、收支ノ關係ガドウナルデアラウカ、其ノ人ノ收入ノ狀況ガ減ルカ殖エルカト云フ點モ考慮シマシテ、從來ノ單價ノ點ト比較シテ、二十錢ナラバ適當デアラウト云フノデ、醫師會ノ意見ヲモ徵シテ規定致シタノデアリマス

○渡邊(健)委員 サウスルト將來一般ニ市街地ノ方ニマデ國民健康保險ガ全部普及サレタ場合ニハ、其ノ一點單價ノ二十錢ト云フノモ幾ラカ考慮スル御考ヘガアルノデスカ

○平井政府委員 此ノ診療費ノ厚生大臣ノ決定ハ、國民保險ニ關シマシテハ只今申シマシタヤウニ、現在町村ヲ目當ニ普及ヲ圖ツテ居リマスカラ、町村ヲ目當ニシテ居リマスガ、普通ノモノガ又健康保險、現在デアレバ職業保險、其ノ他ノ社會保險ニモ適用ニナリマス、ソレデ社會保險ニ於キマシテハ被保險者ハ大體市部ニ居住致シテ居リ

マスカラ、市部ニモ又現在ノヤウナモノガ適用ニナツテ居ルシ、又適用スル積リデ居リマスガ、町村ニ於ケル國民健康保險ヲ來年度濟マセマシテ、明後年度カラ市部ニ普及スル場合ニ相成リマス、當然此ノ診療費ノ決定モ考慮シナケレバナラヌト思ヒマス、然ラバドウ云フ點ニ付テ考慮スルカト云フコトニ相成リマス、今年度ノ診療費ノ決定ノ際ニ於キマシテモ非常ニ問題ニナリマシタ人の考慮ヲ拂フカドウカ、地理的考慮ヲ拂フカドウカ、斯ウ云フ點ニ付テ恐ラク考究ヲ重ネテ行カケレバナラヌノデハナイカ、市部ニ國民健康保險ヲ作ルト云フ場合ニハ、全面的ニ單價ノ引上ト云フコトガ考慮サレルト云フヨリモ、寧ろサウ云フ點ニ於テ考慮ガ拂ハルベキデハナイカト考ヘテ居リマス

○渡邊(健)委員 今マデ健康保險ノ點數計算規程ニ依リマス、初診料ハ三點乃至十五點トナツテ居リマス、ソレガ今度ハ三點トナリマシタ、再診ガ一點乃至五點トナツテ居タノガ、今度ハ二點ト確定シマシタ、往診ガ三點乃至五十點トシテアツタノガ、ソレガ三點トキチント決メラレタノデアリマスガ、是ハ前ノ健康保險ノ點數計算規程ニ何カ缺陷ガアツタ爲ニ斯ウ畫一的ニ決メラレタノデゴザイマセウカ

○平井政府委員 今回厚生大臣ガ決定シタ診療費ノ額ノ重要ナ一部ヲナス所ノ點數計算規程ノ内容ノ變更ニ付テノ御尋ネデアリマシタガ、先程來申上ゲマシタヤウニ、從來日本醫師會ガ引受ケタ金額ヲ保險醫ノ方ニ分配スル場合ニ利用シテ居タモノガ此ノ點數計算規程デアリマス、之ヲ今度厚生大臣ガ診療費ヲ決定スル場合ニ基礎ニ採用致

シマシタ、其ノ際ニ吾々トシテハ、從來日本醫師會ガ作成シテ居タ點數計算規程ヲ其ノ體使用スルコトハ不適當ト考ヘテ、大體數點ニ付テノ根本方針ヲ決メテ、此ノ點數計算規程ニ修正ヲ加ヘタノデアリマス、其ノ修正ヲ加ヘタ根本方針ノ第一點ハ、點數ノ幅ヲナクスルト云フ點デアツタノデアリマス、隨テ只今御述べニナリマシタヤウナ内容ノ點數ノ幅モナクナツテ居リマス、ソレカラ手術、處置方面ニ從來二百點乃至四百點、五百點ト云フヤウナ幅ノアツタ點數ヲ一切廢メテ、點數計算規程ヲ畫一ニシタ譯デアリマス、唯例外的ニ注射ノ點數ガケニ付テ幅ヲ設ケテ居リマス、併シ此ノ注射點數ニ付テ幅ヲ設ケマシタノハ、點數表ノ幅ガアルダケデアツテ、實際ノ取扱ニ付テハ更ニ細カイ注射ノ點數表ヲ作ツテ實行シテ載ク考ヘデアリマスノデ、實質的ニハ點數計算規程ノ幅ヲナクシタコトデアリマス、然ラバナゼ其ノ幅ヲナクシタカト云フコトハ、從來十八年間日本醫師會ガ此ノ點數表ニ依ツテ保險醫ニ分配サレル時ニ、此ノ幅ノアル爲ニ事務的ニモ非常ニ煩雜ニナリ、査定ノ場合ニ非常ニ手續ヲ要シマシタ爲メ、事務簡捷ノ意味合モ一點アルノデアリマス、更ニ又此ノ幅ガアル爲ニ査定ガ非常ニ不明朗ニナルト云フコトヲ私達ハ認メテ居ルノデアリマス、是ハ詳シク申上ゲナテク其ノ方面ニ御關係ノアル渡邊サシハ御承知ノコトト思ヒマスガ、地方ニ依ツテハ幅ノアルコトニ依ツテ非常ニ不明朗デアリマス、理論的ニ本當ニ公正ニ此ノ幅ヲ運用スルコトニナリマス、最モ理想的ニ幅ガ活用サレテ來ルノデアリマスケレドモ、不純ナ動機、原因ナドヲ入レテ此ノ幅ヲ運用

致シマス、非常ニ不明朗ニナリマシテ、隨テ保險醫ノ方々が健康保險診療ニ對シテ厭氣ヲ持タルヤウナ場合ガ非常ニ多イノデアリマス、是ハ地方的ノ問題デアリマシテ、全國ノ各府縣ガサウダトハ申上ガ兼ネマスケレドモ、是ハ理論的ニハ良イノデアリマスガ、實行上非常ニ不明朗ニナルト云フ點ヲ悞レマシテ、來年度カラハ畫一ナ點數ニシテ、ソレガ非常ニ大キナ理由デゴザイマス

○渡邊(健)委員 畫一ニシタト云フコトハ、注射藥、手術等ニ對シテハソシナ風ナ觀點カラヤハリ畫一ニシタ方ガ宜イト云フ考ヘハ私モ持ツテ居ル者デアリマス

(委員長退席、勝又委員長代理着席)

併シソレヲ全部畫一ニスルト云フコトハドウカト思フノデアリマス、例ヘバ初診料ニ致シマシテモ、ソレカラ往診料、入院料ニ致シマシテモ、是ハ其ノ地方々々ニ相當慣習ガアルノデアリマス、ヤハリ是ハ地方長官ト府縣醫師會ニ——例ヘバ往診料ハ前ノ健康保險ノ點數計算規程ハ三點乃至五十點ト云フコトニナリマスガ、五十點ト云フコトハ兎ニ角トシテ、三點乃至十點位ノ程度デ地方長官ト地方ノ醫師會ニ御任セラ願ツタラ宜イノデハナイカト思フノデアリマス、ソレハ往診半里以內三點、サウシテ車馬賃ハ醫者ノ負擔ダト云フコトニナルト、六十錢平均ニナリマス、六十錢平均ニナツテ車馬賃ハコツチノ負擔トスルト、醫者ハ必ズ歩いて行クカ、自轉車で行クカスルヨリ外ナクナリマス、勿論夜間トカ、雨ノ降ツタ時ハ患家ノ負擔ニナルヤウデアリマス、併シ暇ガアルナラ宜イノデアリマスガ、忙シク廻ラナケレバナラスト云フ時ニハ、車馬賃

ヲ患家ニ負擔サセナイト云フコトデアツタラ、今少シ茲ニユトリヲ付ケテヤラナクテハ一寸無理デハナイカト思ヒマス、斯ウナルト患者ノ方カラ往診ノ依頼ガ殺到シテ來ルノデハナイカト思フノデアリマス、迎モ地方ノ開業醫ノ方デハ往診ニ應ジ切レナイ、サウスルトヤハリ患者ト醫師ノ間ニ相剋ガ起ツテ來ルト云フ處ガ十分アルト思ヒマス、色々ノ場合ヲ考ヘテ見マシテモ、斯ウ三點ト云フ風ニキチント決メラレルト云フト、醫者ノ診療所ガ其處ニアルト、周リニ圓ヲ描イテ、半道ハ何處カラ何處マデトキチント決メテ置クト云フコトニナリハシナイカト思ヒマス、是ハ保險組合ト開業醫トの間ニ、此ノ部落ニ行ツタラ何點ダ、此ノ部落ニ行ツタラ何點ダト云フ風ニ大體ノ取極メデ決メテ置イタ方ガ旨ク行クノデハナイカト思ヒマス、甲ノ醫師カラ言ツテ、隣リマデハ三點デ、車馬賃ハコツチノ負擔ダ、隣リカラ先ハ車馬賃ハ向フノ負擔ニナル、患家カラ取ルノダト云フヤウナコトハ實情ニ副ハスト思ヒマス

(勝又委員長代理退席、委員長着席)

ヤハリ一ツノ部落ガアツタラ、其ノ部落ハ何處へ行ツテモ、一番向フノ端デモ、コツチノ端デモヤハリ三點ナラ三點デ、車馬賃ハ患者ノ負擔ナラ患者ノ負擔ト云フヤウニ決メテ置ク方ガ宜イノデハナイカト思ヒマス、サウ三點ト畫一ニサレルト、非常ニ色々ナ問題ガ起ツテ來ルト思ヒマス、一町行ツテモ三點ダ、半里行ツテモ三點ダ、平均スレバ同ジデハナイカト言ヒマスケレドモ、一町以內、自分ノ隣リ近所ト云フハ四軒カ五軒デアリマス、十町以內ト云フト百軒モ、二百軒モ、三百軒モアル譯デス

カラ、三點、六十錢ト云フヤウナコトデハ迎モ現在ノ事情ニ副ハナイト思ヒマス、例ヘバ足ガ痛イ、足ガ痛イノダガ別ニ氣分ハ惡クナイカラ隣リノ人ニ頼ンデ「サイドカー」ニ乗セテ行ツテ貰ヘバ醫者ノ家ニ行ケルト云フ人モ、六十錢デ済ムト云フノダカラ、是ハ醫者ニ來テ貰ヒタイト云フノハ當然デアリマス、隣リノ人ヲ頼ンデ「サイドカー」デ引張ツテ行ツテ貰ツタラ、幾ラ出スト云フト、現在幾ラ少クトモ農村デモ一圓ハ出シテヤラナケレバ頼メマセデス、ソレガ六十錢デ済ムト云フコトニナルト、醫者ハ往診ヲ嫌ガリマス、患者ノ方カラハドン／＼往診ノ依頼ガ殺到シテ來ルト云フコトニナツタラ、是ハ醫者ノ酷使デアリマス、現在ノ所デモ、地方農村ノ開業醫ト云フモノハ筋肉労働者デアリマス、朝早クカラ自轉車デ泥塗レニナツテ駈ケ廻ツテ居ル筋肉労働者デアリマスカラ、此ノ上又往診ノ依頼ガ多イト云フコトニナツタラ、是ハ迎モヤリ切レルモノデハナイト思フノデアリマス、是ハヤハリ地方長官ト醫師會ニ一任シテ、本當ノ細カシイ點ハ其ノ地方ノ國民保險組合ト開業醫ノ協定ニサセタラ、サウシテ大綱ダケヲ政府ノ方デ御決メニナツタラドウカト思フノデアリマスガ、其ノ點何カ御考ヘガアリマスカドウカ

○平井政府委員 此ノ點數ノ決メ方ニ付テノ御質問デゴザイマシタガ、先程來申シマスヤウニ、團體診斷ノ醫療費ヲ決定スルト云フコトハ非常ニ難カシイ問題デアリマシテ、ドウシテモ或ル程度畫一ニナラザルヲ得ナイノデアリマス、ソコデ往診料ノ御話ガアリマシタノデスガ、往診料ニ付キマシテモ一應三點ト決メテ居リマス、是ハ大體

町村ニ於キマシテハ往診料ヲ取ラナイノガ今ハ普通ノ慣例デゴザイマス、ソレニ保險ノ方ニ於キマシテハ三點御拂ヒスル、其ノ三點ハ半里以內デアレバ隣リニ往診サレマシテモ三點御拂ヒスルシ、ソレヲ十軒廻ツテ往診サレマス場合ニハ、三十點御拂ヒスルト云フコトニ相成ルノデアリマス、サウ云フヤウナ實情カラ三點ト決メタノデアリマス、但シ三點ト確定シナガラモ、夜間ハ十割増ニスルトカ、或ハ難路ハ十割増、或ハ暴風雨ノ場合若シクハ往診シテモ診察ニ相當時間ヲ要シタト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、更ニ點數ヲ増スト云フヤウナコトデ、畫一シナガラモソコニ實情ニ副ハナイ場合ガアリ得ルト思ヒマスカラ、具體的ノ場合ニ適合スルヤウニ出來ルダケノユトリヲ付ケテ居ル譯デアリマス、更ニ國民保險方面ニ於キマシテハ、町村ニ普及スルト云フ建前デアリマスノデ、町村ノ事情ハ、茲ニユトリヲ付ケタダケデモ尙ホ十分ノ場合ガアリ得ルト思ヒマス、サウ云ツタラ十分ノ場合、實情ニ副ハヌヤウナ場合ニ於キマシテハ、地方長官ガ又異ナルコトヲ決メテモ宜イ、斯ウ云フヤウニ決メマシテ、本質トシテハ點數ノ決メ方ト云フモノハドウシテモ畫一ニナラザルヲ得ナイ、具體的ノ凡ユル場合ニ適合スルヤウニハ事務的ニ決定出來ナイノデアリマスカラ、畫一ニナラザルヲ得ナイ、畫一ニナルケレドモ、具體的ニ餘リニ實情ニ副ハヌト云フ場合ガ起ルノデ、サウ云ツタ場合ニ於キマシテハ尙ホ餘裕ヲ付ケルヤウナユトリヲ方々ニ付ケテ居ル譯デアリマス

更ニ又今往診ノ點數ガ低イト、往診ヲ求

メル者ガ多イト仰シヤイマシタガ、是ハ何
カノ誤解デハナイカト思ヒマス、健康保險
ナドデ言ヒマス、診察料ニハ被保險者ノ
負擔ハ付イテ居リマセス、唯保險者ガ御拂ヒ
スルダケダカラ、今マデトチツトモ違ヒマ
セヌ、被保險者ノ負擔デハアリマセヌカラ、
是ガ何點ニナリマセウトモ、被保險者カラ
ノ請求ト云フモノハ健康保險ト同ジニナル
譯デアリマス、之ヲ又地方長官ニ任セ
タラドウカ、斯ウ云フ御意見モアリマスノ
デスガ、是ハ難キヲ地方廳ニ渡シテ逃グル
ト云フヤウナ恰好ニモナリマシテ、地方廳
ニ任セマシテモ、地方廳トシテハ中々難カ
シイ問題デアリマスノデ、吾々トシテハ何
處マデモ畫一ニナラザルヲ得ナイ性質ガア
ルモノヲ、具體的ニ或ル程度無茶デナイヤウ
ニユトリヲ付ケルヤウニハ將來モ考究シテ
行キタイト思ツテ居リマスガ、今直チニ地
方廳ニ之ヲ任カセルト云フ考ヘハ持ツテ居
リマセヌ

○渡邊(健)委員 入院料ノヤウナモノモ丙
地ハ一日一人十三點デスカラ、一點二十錢
トスルト二圓六十錢デアリマス、是ハ入院
スルト云フノハ地方ノ村落ノ病院ヨリモ、
寧ロ市街地ノ病院ニ入院スル者ガ多イノデ
アリマス、一體二圓六十錢デ入院出來ルカ
ドウカ、治療ハ七點以下ハ請求出來ナイヤ
ウニナツテ居リマス、治療シテ榮養食ヲ與
ヘルト云フヤウナコトガ完全ニ出來ルカド
ウカ、私ハ疑問ダト思フノデアリマス、今
ハ殊ニ物が不足デアリシ、相當色々ノ生活
費モ高マツテ居ルノデアリマス、二圓六十
錢、十三點ト云フヤウナコトニスルト云フ
ト、地方ノ事情ニモ依ルト思ヒマスガ、餘
程困難デナイカ、併シ村落ナンカデハ十三

點デモ相當餘裕ガアル所モアルト思ヒマス、
ソレデ今度モ相當幅ヲ付ケルコトハムヅカ
シイカラ出來ナイト云フ御話デアリマスガ、
私共トシテハ、現在ノ醫師會カラ考ヘルト、
醫師會トシテモ何デモ彼デモ貪リ取ラウト
云フヤウナ考ヘハ私ハ持ツテ居ナイト思ヒ
マス、ダカラ相當醫師會ノ人格モ尊重シテ、
地方長官ト決メルト云フヤウナコトヲ與
ヘテアルト云フコトモ必要デヤナイカト思
フノデアリマス、餘リ重箱ノ隅ヲ突ツクヤ
ウナ規則ヅクメデアルト云フコトハ、是ハ
醫師會ヲ束縛シ、醫師會ヲ侮辱スルト云フ
ヤウナ風ニ取レナイコトモナイト思ヒマ
ス、十三點ニ決メルト云フヤウナコトニナ
ルト、丙地ハ十三點デアリマスルカラ、今
國民健康保險ヲ普及サセヨウトスル地方ハ
大抵丙地ニナツテ居ルト思ヒマスガ、二圓
六十錢デアルト云フコトニナレバ、國民健
康保險ニ掛ツテ居ナイ者ヨリ相當差別待遇
ヲサレザルヲ得ナイヤウナ狀態ニナルノデ
ヤナイカト思ヒマス、例ヘバ食事ノ問題デ
モ、サウナツタラ非常ナ由々シイ大事ニナ
ルト思ヒマス、假令サウシタコトヲヤラナ
イトシテモ、サウシタ危惧ヲ持タセルト云フ
コトソレ自身ガ、國民健康保險普及ノ上ニ
エライ障礙ヲ起スコトニナルノデアリマス
カラ、是ハ初メニ餘程注意シテヤラナイト
ムヅカシイコトニナリハシナイカト思ヒマ
ス、現在私ハ詳細シイ調査ハシテ居リマセ
ヌケレドモ、各地方ノ稅務署ニ依ツテ違
フト思ヒマスガ、病室ヲ持ツテ居ル醫者ハ
大體一ツノ「ベッド」ニ對シテ一日一圓前後
ノ税金ガ課ツテ居ルノデヤナイカト思ヒマ
ス、サウスルト二圓六十錢デ一圓引クト云
フト、一圓六十錢位デ何モ彼モヤツテ行カ

ナクチヤナラヌト云フコトニナラザルヲ得
ナイト思ヒマス、ソレデ食事ヲヤル、都合
ニ依ツタラ炭モ出サナクチヤナラヌ、夜具
蒲團モ貸シテヤラナクチヤナラヌト云フコ
トニナツタラ、ユトリヲ與ヘテヤラナイデ、
キチントスウスルト云フト、結局差別待遇
ニナルト思ヒマス、例ヘバ片方カラハ炭代
ヲ取ル、夜具蒲團ノ貸代ヲ取ル、片方カラ
ハ全然取ラヌト云フコトニナルト、是ハヤ
ハリ差別待遇ヲセザルヲ得ザルヤウナ狀況
ニナツテ行クノデヤナイカト思フノデスガ、
劃一的ニシナクチヤドウシテモイカスト云
フ今ノ政府ノ御考ヘダトスルト、私ハヤハ
リ是ハ醫師會ノ人格ヲ認メ、或ル程度コン
オコトハ地方ノ醫師會ト縣ノ方ニ御任セ戴
キタイト云フコトヲ御願ヒ致シタイノデア
リマス

更ニ丙地ノ問題モ御話ガアリマシタガ、丙
地ニ付キマシテハ、吾々ノ調ベタ所ニ依リ
マシテモ、又全國カラ庶務課長ヲ呼ンデ
聽キマシタ所ニ依リマシテモ、此ノ十三點
ハ寧ロ高イ位ダト云フ聲ガ強イノデアリマ
スカラ、決シテ二圓六十錢ガ安イトハ私ハ
考ヘテ居リマセヌ、例外的ナ場合モアラウ
カト思ヒマスケレドモ、多クハ十三點ニ決
メマシテモ必ズシモ安イトデハナクシテ、
寧ロ高イノデヤナイカ、府縣ハ之ニ對シテ
特別ノ規定ヲナシ得ルコトニナツテ居リマス
ガ、恐ラク實績トシテハモツト是ヨリ低イ
點ヲ決メテ來ルノガ多イノデヤナイカト云
フコトヲ今想像致シテ居リマス、更ニ又此
ノ厚生大臣ガ決定シタ診療費ニ依ツテ開業
醫ノ收入ガ非常ニ減ツテ、爲ニ診療内容ガ
低下スルノデハナイカト云ヌヤウナ御質問
デアリマシタガ、若シ收入ガ著シク減少致
シマシテ、診療内容ガ低下スルト云フヤウ
ナコトガアルト云フコトヲ想像スルナラバ、
吾々ハ斯ウ云ツタ診療費ノ額ノ決定ハ致サ
ナイ譯デアリマシテ、吾々ノ調ベタル所ニ依リ
マスレバ、此ノ決定ニ依リマシテ必ズシモ
減少スルトハ思ツテ居リマセヌ、寧ロ増收
ニナル方ガ多イノデヤナイカトマデ考ヘテ
居ル譯デアリマス、是ハ渡邊サンハ從來ノ
御經驗カラ御判斷ニナツタト思ヒマスケレ
ドモ、從來ハ先程來申上ゲマスヤウニ、請負
式デアリマシテ、一定ノ金額ガ決マツテ居
ルノヲ分ケ合フ關係ガアリマスガ、來年度
カラハ定額資金ト申シテ居リマスガ、掛ツ
タダケヲ御拂ヒスル、而モソレハ現在十八
錢ノモノヲ二十錢單價デ、掛ツタダケノモ
ノヲ御拂ヒスルト云フノデアリマスカラ、
從來ノヤウニ一定ノ總額ノ申デ請負ツテ貰

○平井政府委員 入院料ノ點ナドモ御話ガ
アリマシタノデスガ、今年度厚生大臣ガ決
定シマシタノハ、入院料ニ於キマシテモ甲
乙丙トシ、其ノ他入院料以外ニ請求シ得ル
額ニ付キマシテモ相當引上ゲテ居リマス、

第六類第十五號 藥事法案外二件委員會議錄 第九回 昭和十八年二月二十五日

フト云フノトハ根本的ニ違ヒマスカラ、實收入ハ必ズシモ減ルトハ吾々ハ考ヘテ居リマセヌ、若シ減ツテ診療内容ノ低下ト云フヤウナコトノ虞ガアルヤウナラバ、勿論此ノ診療費ノ額ノ決定ハ年度ノ途中デモ改正ヲ行ヒ得ルノデアリマスカラ、考慮シナケレバナラヌト思ヒマス

○渡邊(健)委員 ソレハ實際ニヤツテ見ナイト云フト、收入減ニナルカ増ニナルカト云フヤウナコトハ分ラヌト思ヒマス、又吾ガ想像シタ所ニ依ルト云フト、地方ノ村落ノ開業醫ハヤハリ大シタ影響ハ實ハナイト思ヒマス、ナゼカト云フト、今度ハ患者ノ數ガ多クナルト云フコトト、診療費ノ未拂ガナクナルト云フコトカラ考ヘテ、サウ大シタ影響ハナイト考ヘラレマス、併シ前ヨリ増ト云フヤウナコトハ、私共想像ラシテ居リマセヌ、是ハモウ都市農村共ニ生活費ハズン／＼高クナツテ居リマス、サウシテ醫療ノ材料ノ點カラ言ツテモ、此ノ前ノ委員會デ申上ゲタヤウニ、藥品モ事變前ノ三倍四倍ト云フヤウナ高イ材料ヲ使ツテ居ルノデアリマスカラシテ、決シテ收入ガ増加スルト云フヤウナコトハ私共考ヘテ居リマセヌ、例ヘバ事變前一箇月千圓ノ收入ガアツタ人ハ、ヤハリソレダケノ收入ハアルト思ヒマス、生活費ノ方、又醫療藥品等ノ値上リ、其ノ他カラ考ヘテ見マスト云フト、醫者ハ今マデノヤウナ經濟狀態ニ置カレルト云フヤウナコトハ考ヘテ居リマセヌ、而シテ現在ノ醫者ハヤハリ國家ノ爲ニ働イテ居ルノダト云フヤウナ考ヘテ持ツテ働イテ居ルト思ヒマス、決シテ經濟的ニ儲カルカラ、儲カラスカラト云フヤウナコトハ、言フ人モアルカモ知レマセヌガ、一般ノ醫者

ハ言ツテ居リマセヌ、又サウシタコトヲ言フヤウナコトハ恥トシテ居ルヤウデアリマス、併シサウダカラ宜イト云フヤウナコトハ私ハ考ヘラレナイト思ヒマス、ヤハリ相當經濟的ニ考ヘテヤラナクテハナラヌト思ヒマス、ソレハ政府ノ方デ統計ヲ取ツテ收入ガ良イト云フコトデアリマスガ、私共ノ内輪話カラ出ル話ハ、皆ドウモ經濟的ニハ悲觀的デアリマス、ヤハリ實際ニ國民健康保險ヲヤツテ居ル所ノ醫者デモ、經濟的ニ言フト、悲觀的ナコトヲ言ツテ居リマス、ガカラ其ノ結果或ル地方デハヤハリ國民健康保險ニ加入シテ居ナガラ、都會地ニ出テ良イオ醫者サシニ掛ル時ニハ、國民健康保險ヲ止シテ、自分カラ實費ヲ出シテ掛ルト云フ狀況ニナツテ居ルノデアリマス、ヤハリ此ノ狀態デ進ンダラ餘リ好イ結果ヲ及ボシテ來ナイト思ヒマス、今マデノ規定ヲ見ルト、ドウモ醫者ヲマルデ被疑者扱ヒニシテ居ルト思ヒマス、是ハ醫師全體ガソシナ考ヘテ持ツテ非常ナ不満足ヲ抱イテ居ルヤウデアリマス、醫者ノ仲間ニモ惡イ者ハアルノデアリマシテ、是ハ徹底的ニ膺懲シナケレバナラヌノデアリマスガ、併シ政府トシテ開業醫ニ臨ムニハ、大部分ノ善良ナ醫者ヲ目標トシテ臨ンデ戴キタイト思フノデアリマス、惡德ノ醫師ヲ如何ニシテ除クカト云フヤウナコトハ、自ラ罰則ガアツテ別ナコトデアリマス、善良ナ醫者ヲ目標トシテヤツテ戴キタイト思フノデアリマスガ、現在ノヤリ方ハ所謂厚生省ガ醫師會全體ヲ一律化サウトシテ居ルヤウナ傾向ガアリマス、今少シ先程申上ゲタヤウニユトリヲ與ヘテ欲シイト思フノデアリマス、其ノ爲ニ若シ不心得ナ醫者ガアツタラ、ソレハヤハリ嚴

重ニ處罰シテ戴キタイト云フコトヲ私ハ特ニ御願ヒ申上ゲタイノデアリマス、ソレカラ又藥價ノ問題デアリマスガ、今マデ地方ノ本當ノ農村ハ二十錢デヤツテ居ルト思ヒマスガ、併シ醫師會ノ規程デハ大抵一點單價ヲ二十五錢ニ協定シテ居ル所ガ大部分デアリマス、其ノ點カラ言フト、是ハ二割ノ收入減ニナラナクテハナラヌ、ガカラ開業醫ノ收入ト云フヤウナ點カラ考ヘテ、又開業醫ガ本當ニ國家ノ爲ニ働イテ居ルノダ、國民健康保險ニシロ、健康保險ニシロ、半民營デアリマスカラ、國家ノ爲ニ働イテ居ルト云フ自覺ヲ與ヘナクチャイカヌト思ヒマス、ソレニハヤハリ地方ノ開業醫ノ老後ヲ見テヤルト云フ、政府トシテノ親心ガアツテ然ルベキダト私ハ考ヘルノデアリマス、若イ内ハ朝カラ晩マデ活動シテ居ルノデアリマスガ、併シ段々年ヲ取ツテ來ルト活動ガ出來ナクナリマス、サウスルト收入減ニナリマス、地方ノ開業醫ハヤハリ一々消毒シテ行ク譯ニハ行カスノデアリマシテ、傳染病ノ所ヘモ、又ドシナ危險ナ所ヘモ入ツテ行カナケレバナラヌノデアリマスカラ、ヤハリ老後ノ年金制度ト云フヤウナコトヲ開業醫ニ考ヘテヤル必要ガアルノデハナイカト思フノデアリマスガ、之ニ對シテ何カ政府トシテ御考ヘガアルカドウカ伺ヒタイノデアリマス

○武井(群)政府委員 先刻來國民健康保險ノ問題等ヲ中心ニシテ、地方ノ開業醫ノ各種ノ實情等ノ御話ガアリ、又診療ノ單價其ノ他ニ付キマシテノ御話モ承ツタノデアリマス、ソレニ付テ保險局長ヨリ一々當局ノ意ノ在ル所ハ御答ヘシタ譯デアリマスガ、此ノ機會ニ於キマシテ、色々ト先刻來段々御話ノアリマシタコトニ付テ纏メテ所見ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、御話ノ中ニ健康保險醫ニ付テハ地方ノ開業醫ヲ信用シナイデヤナイカト云フヤウナ御言葉モアツタヤウデアリマスシ、又其ノ收入ト云フモノヲ考ヘナイデハナイカ、餘リヤルト醫療内容ノ低下ニナルデヤナイカト云フヤウナ御話、最後ニハ又今老後ノコトノ御話モアツタヤウデアリマス、政府ト致シマシテハ從來ノ保險制度ニ付キマシテハ、御承知ノ通り過去數年ノ間ニ於テ僅ニ五、六百万人ノ組合員ヲ獲得シタト云フ程度デアツタノデアリマス、ソレヲ昨年來茲ニ國民健康保險ノ問題ヲ大キナ國策トシテ採リ上ゲテ、此ノ兩三年ノ間ニ於テ全國民漏レナク健康保險乃至國民健康保險ニ加入セシメヨウ、サウシテ國民體力ノ向上ヲ圖ラウト云フコトニ方針ガ決マツテ、十七年度カラ大々的ニ此ノ組合ノ展開ヲ致シテ居ル狀態ヲデアリマス、併シナガラソレハ今途中デアリマスノデ、現在アルモノニ付キマシテノ藥價ノ協定、指定ト云フヤウナコトニ付キマシテモ、又昨日田中委員カラ御話ニナリマシタ保險醫ノ指定ト云フヤウナコトニ付キマシテモ、從來ハ任意デアリマシテ、又契約ニ依リマシタモノヲ、昨年初メテ法律ニ於テ官廳ガ一方的ニ指定スルト云フヤウナ規定ニナツタ譯デアリマス、今日ハ丁度政府ノ大キナ國策ヲ推擴スル途中ニアツテ、現實ノ問題トシテハ從來ノ實績ト云フヤウナコトモ併セ考ヘテ進マナケレバナラヌト云フコトデアリマスルノデ、將來ノ大キナ見透シヲ考ヘテ大キナ期待ヲ以テ見マスト、現在事務當局ノ執ツテ居リマスルコトニハ不滿ノ點モ私ハアルト思ヒマス、併シナ

ガラサレバト言ツテ、事務當局ガ今其ノ途
中ニ於キマシテ、將來ノ見透シノ下ニ大キ
ナ展開ヲスルト云フコトモ參リ兼ネル實
情モアリマス、此ノ點ハ開業醫ニ於テモ同
様ダト思ヒマス、從來謂ハバ同業組合的ニ
ナツテ居リマシタ醫師會ト云フモノガ、今
度新シク更生シテ、サウシテ國策ニ協力ス
ルト云フ更生醫師會ガ出來タノガツイ昨今
デアリマシテ、大日本醫師會ガ出來タノハ
先月ト云フヤウナ實情ナノデアリマスノデ、
地方開業醫ニ於カレマシテモ同様ニ色々
意見モアルコトト思フノデアリマス、ソコ
デ政府ノ考ヘヲ申上ゲル譯デアリマスガ、
此ノ際國民體力ノ向上ト云フコトハ何ヨリ
モ大切ナコトデアリマスノデ、巨額ノ國費
ヲ投ジテ全國ニ漏レナク健康保險ノ網ヲ張
ルト云フ大キナ方策ヲ立デテ、而シテ豫算
モ現實ニ措置ヲ致シ、是ガ勢ヒ好ク進行シ
テ居ル途中デアリマス、是ハ二、三年ノ内
ニ必ズ實現出來ルガラウト思ヒマス、一方
之ニ協力シナケレバナラヌ所ノ醫師會ハ更
始一新致シマシテ、恐ラク之ニ協力シテ吳
レルト思ヒマス、即チ政府ト健康保險組合
ト醫師會ト、三位一體トナツテ進マナケレ
バナラヌノデアリマシテ、先程ノ御言葉ニ
ハ官營化トカ、民營トカ云フコトモアリマ
シタガ、私共ハ是ハ國民體力ノ構ヘデ參ラ
ナケレバナラヌモノト、斯様ニ考ヘテ居ル
譯デアリマス、狙フ所ハ醫療内容ノ向上デア
リ、體力ノ向上ニアルノデアリマス、一方醫
師會ニ於キマシテハ、醫療内容ノ向上ニ向
ツテ醫療團ヲ働カセ、政府ニ於キマシテハ
醫療團ヲ働カセテ專ラ醫療内容ノ向上ニ當
リ、而シテ之ヲ實地ニ現ハスノハ日本醫師
會ニ屬スル醫師會員ダト云フコトニナルノ

デアリマスノデ、此ノ際ニ政府ト致シマシテ、
決シテ唯單ニ組合ヲ作ツテ、サウシテ國民
ニ醫療ノ機會ヲ與ヘルト云フダケデ満足ス
ベキモノデハナイノデアリマシテ、必ズ醫
療内容ヲ向上サセテ、體力ノ向上ニ資セナ
ケレバナラヌ譯デアリマスカラ、斯様ニ考
ヘテ參リマス、更生シタ國策ニ協力スル
日本醫師會ノ人達ニ對シテ、政府ハ必要ナ
ル費用ノ支出ヲ決シテ吝シムモノデハナイ
ノデアリマス、只今色々御話モアリマシ
タケレドモ、醫療内容ノ低下スルヤウナ方
策ヲ豫算ノ方面カラシテ執ルト云フヤウナ
コトハ、毛頭アリ得ベカラザルコトデア
ル考ヘマス、日本醫師會ノ畫策スル所ノ醫
療内容ノ向上ト相伴ヒマシテ、之ニ必要ナ
ル費用ハ保險ノ制度ニ於キマシテモ支出ス
ルニ吝カデナイト云フコトヲハツキリ申上
ゲタイト思ヒマス、而シテ唯最後ニ御話
ニナリマシタ開業醫ノ老後ノ問題ニ付テ、
老後ノ懸念ガアル爲ニ、此ノ保險ノ費用デ
云々ト云フコトガアリマス、此ノ點ニ付
キマシテハ、此ノ席上デハツキリソレハ申
上ゲラレマセヌガ、昨日デアリマシタカモ
御話ノアツタコトデアリマスガ、國策ニ協
力シテ專心御奉公サレル其ノ開業醫ノ老後
ニ付キマシテハ、是ハ恐ラク醫師會ニ於テ
共濟制度ト云フヤウナコトガ考ヘラレルコ
トダト思フノデアリマス、斯様ナ方法ニ依
リマシテ、老後ノコトモ考ヘ、之ニ對シテ
政府ガ援助ヲ與ヘルト云フヤウナコトガ行
キ途カト、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、
健康保險ノ制度ト致シマシテハ、府縣醫師
會、而シテ其ノ醫療内容ノ向上ニ付テハ、
日本醫師會、而モ醫療團ト醫師會トハ不可
分開係ニアル譯デアリマス、之ニ國民ノ盛

リ上ル所ノ國民保險組合ガ出來テ、三位一
體トナリマシテ、サウシテ眞實ニ體力ノ向
上ノ出來マシヤウニ致スコトガ狙ヒデア
リマスノデ、總テガ此ノ目標ノ下ニ順次解決
スルコトニナルト思ヒマス、點數制ノ如キモ
今日ハ畫一的デアリマス、是ハ率直ニ申上
ゲマスト之ニ代ルベキ名案ガゴザイマセヌ
ノデ、時日ガ遅レマスノデ一應定メマシテ、
之ニ依ツテ地方長官ハ土地ノ狀況等ニ依ツ
テハ、更ニ之ヲ斟酌シ得ルノ規定ヲ設ケテ
居ルノデアリマスカラ、將來全國民ガ漏レ
ナク保險組合ニ入ルト云フヤウナ時ニ於キ
マシテハ、市部ニ於キマシテ色々特徴
モアル譯デアリマス、又是ト違フ山間部ノ
狀態モアリマス、又此ノ保險組合ヲ無視シ
テ全國ノ開業醫ガ其ノ業ヲ營ムト云フコト
ハ難カシイ狀態ニナルコト私ハ思ヒマス、
又全國ノ開業醫ガ進シテ國民健康保險組合
ニ協力スルコトヲ政府ハ期待シテ居ル譯デ
アリマス、左様ニナリマスレバ、茲ニ點數
制度ニ付キマシテモ、事務的ナ考慮ヲ拂フ
云フヤウナコトモ必要デアラウト思ヒマス、
地域のノ考慮ヲ拂フト云フコトモ當然必要
デアラウト思ヒマス、是等ノコトハ一方國
策ヲ進行ト相配合ハセナガラ、順次改善シ
タイト思ツテ居リマス、私ハ事務當局ヲ統
督スル責任ヲ持ツテ居リマスカラ、大臣ノ
方針ヲ十分尊重致シマシテ、實際ニ即應ス
ルヤウニ逐次改善シテ行ク積リデアリマス、
右様御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○渡邊健委員 老後ノ問題モアリマスガ、
ソレカラ又斯ウシタ國家的任務ニ向ツテ働
イテ居ル以上ハ、ヤハリ「チブス」其ノ他ノ傳
染病ニ感染シテ死ヌヤウナ醫者モ可ナリ多
イト思ヒマス、勿論醫師會トシテ考ヘナケ
レバナラヌ問題カモ知レマセヌガ、政府ト
シテモ相當助長ヲ考ヘテヤル必要ガアルト
思ヒマス、此ノ方法トシテ私考ヘテ見タノ
デアリマスガ、是ハ過日ノ委員會ダ申上ゲ
タノデスガ、醫療藥品ヲ全部醫師會ノ手ニ
一任シロ、醫療藥品ヲ全部醫師會ノ方デ取
扱フト云フコトニシテ、下部組織ニ對シテ
ハ、藥劑師ト協力シテ賣ハナクテハナラヌ、
醫療以外ノ賣藥、其ノ他小賣營業調劑用ノ
藥品ハ別トシテモ、大體醫療用藥品ダケデ
全國で一億圓位ノ賣上代デハナイカト思フ
ノデアリマス、サウスルト此ノ中ノ三分ヲ
開業醫ノ方カラ取上ゲルト言ヒマス、三
分ノ利益ヲ差引キマス、大體三百萬圓位
ノ金ガ出來ルト思ヒマス、之ニ開業醫ノ職
金ト政府ノ補助ト云フヤウナモノヲ加ヘル
ト相當ノ費用ガ出ルデハナイカト思ヒマス、
全國ノ醫者ガ大體開業醫數ガ六万七千デア
リマスカラ、此ノ二割ガ五十歳以上サウシ
タ働ケナイ老後ノ年金ヲ要スルト云フコト
ニ致シマス、大體一万五千人位ニナル
ト思ヒマス、サウスルト藥品ノ賣上代カラ
ノ利益ダケカラ考ヘテモ三百萬圓浮クトスレ
バ、一人當リ年二百圓位ノ補助ヲ出セルト
云フコトニナルト思ヒマス、斯ウシタ制度
ヲ拵ヘテヤルコトソレ自身ガ、醫師會、開
業醫自身ニ、是ハヤハリ國家ノ爲ニ働イテ
居ルノダト云フ氣分ヲ與ヘル上ニ非常ニ大
キナ影響ガアルト思フノデアリマス、ダカ
ラ其ノ意味カラ言ツテ、政府モコンナ方面
ニ同情ヲ持ツテ、是ガ出來ルヤウナ方法ニ
御援助ヲ御願ヒ致シタイト思フノデアリマ
ス
ソレカラ最近無醫地域ト云フモノガ非常
ニ多クナツタト思ヒマス、是ハ地方ノ醫者

ノ數ハソレ程減ラナクテモ、交通ノ不便ト云フコトガ無醫地域ノ非常ニ大キクシタト思ヒマス、今マデ地方ノ醫者ガ藥物ヲ利用シテ一日十軒往診出來タ所ガ、今度ハ五軒シカ往診出來ヌ、ソレカラ今マデ乗合ノ自動車患者ガヤツテ來タ、所ガ今度乗合自動車ガ廢止ニナツタノデ、患者ガ來ラレナクナツタト云フヤウナ關係カラ、無醫地域ガ昨年ト比ベタラズツト多クナツタト考ヘナクテハナラヌト思ヒマス、今マデ無醫村トシテ二千幾ラアツタ、純無醫村ガ六百幾ラアツタト云フコトデアリマスガ、無醫村ト云フコトハ兎ニ角ト致シマシテモ、今マデハ交通機關ニ依ツテ相當遠カラデモ患者モ通ツテ來ラレルシ、醫者モ直グニ行ケタ、所ガ今度ハ行ケナクナツタト云フ關係カラ、無醫地域ト云フモノガ非常ニ多クナツタト思ヒマス、此ノ無醫地域ヲ解消スルコト云フコトガ、ヤハリ醫療ノ普及ト云フ點カラ益、非常ニ大キナ問題ニナリツツアルト私ハ考ヘルノデアリマス、昨日モ委員會デ此ノ問題ガ出タト云フコトヲ承知シテ居リマスガ、此ノ對策トシテ私ノ卑見ヲ申上ゲルナラ、ヤハリ地方ノ開業醫ニ與ヘルト言フト語弊ガアルカモ知レマセヌガ、地方ノ保險組合ニ乗物ヲ與ヘタルト云フコトガ、大事デヤナイカト思フノデアリマス、自動車ノ「ガソリン」ノ配給ヲヤツテヤルト云フコトガ大事デヤナイカト思フノデアリマスガ、是モヤハリ現在ノ時局下ニ於テハ多クヲ望ムコトハ出來ナイト思ヒマス、ソレデドウシテ苦痛ヲ取ツテヤルカト云ツタラ、ヤハリ是ハ保健婦ヲ活用スル外ニ途ハナイト思ヒマス、是ハ昨年ノ議會デモ私申上ゲタノデスガ、保健婦ニ今少シ教養ヲ與ヘテ、

ソシテ現地開業醫的ノ制度ヲ設ケテ、或ル程度ノ藥品、或ル程度ノ病氣ニ對シテハ診斷書モ書イデヤルシ、藥ニ依ツテハ注射モシテヤレルト云フヤウナ制度ヲ設ケテヤルコトガ必要デハナイカト思ヒマス、サウシテ一週間ニ二回ナリ三回ナリ、其ノ地方ノ開業醫ガ廻ツテヤツテ、其ノ患者ヲ今度ハ醫者ノ方カラ本當ニ診察シテヤル、其ノ前ノ治療トシテ注射シテヤルトカ、或ハ突然死シタ場合ニハ、ソレガ大シタ異狀ハナイト云フコトガ一般ニ分レバ、唯老衰死シタト云フヤウナコトマデ、何モ醫者ガ診察ケテモ分ル譯デアリマスカラ、ソシテ診斷書ハ其ノ保健婦診斷書ガ書ケルト云フヤウナ便法ヲ設ケテヤル必要ガアルデハナイカト思フノデアリマス、現在地方、殊ニヒドイ山ノ中ナドデハ醫者ガ朝出掛ケテ晩ニナラナレバ一軒モ往診ガ出來ナイト云フ地方モ可ナリアルト思ヒマス、又往診スレバ往診料ニ、自動車賃ガケガ今五十圓、六十圓ノ自動車賃ヲ拂ハナケレバナラナイト云フ所ガ澤山アルト思ヒマス、サウシタコトヲ解消スルコト云フ意味カラ、ヤハリサウシタ制度ヲ設ケテヤル必要ガアルノデハナイカト思ヒマスガ、コンナコトヲ研究シタコトガアルカドウカ、御伺ヒシタイト思ヒマス

○武井(群)政府委員 無醫地域ガ今尙本現存スルコトハ甚ダ遺憾デアリマス、御話ノヤウナ點デサウ云フ地域ガ擴大スルコトモアルカト思ヒマス、是ガ解消ハ仰セノ通り焦眉ノ急デアリマス、政府モ同様ニ考ヘテ居リマス、之ヲ解消スル主タル任務ヲ持ツテ居リマスノハ、昨年生レマシタ日本醫療團デアリマシテ、日本醫療團ニ於キマシテハ其ノ對策ヲ政府ト一緒ニナツテ色々ト考案シテ居ラレ、漸次進メツツアル譯デアリマス、御話ノヤウナ具體的ノ事例ヲ聽キマシテ、更ニ能ク日本醫療團トモ相談致シマシテ、此ノ解消ノ方法ト相違シテ應急策モ執リタイト思ヒマス、能ク承ツテ置キマス

○渡邊(健)委員 今度醫師法ニ依リマシテ、新シク醫師ノ使命ト云フモノガ設ケラレハツキリ致シタノデアリマスガ、現在ノ醫師、開業醫ト云フモノガ今マデノ醫療ト云フ方面ニノミ專念スルコトハ許サレナクナツタコトハ勿論デアリマス、例ヘバ一結核患者ヲ診察シタナラバ、其ノ結核患者ノ診療ト云フコトノミヲ考ヘテ居タノデアリマスガ、是カラノ開業醫ハ其ノ結核患者ガ起ツテ來タ原因、其ノ周圍ノ環境習慣ト云フヤウナコトマデ能ク調べテ行カナクチヤナラヌト思ヒマス、ソレカラ又一人ノ流産患者ヲ診タナラバ、何故ニ流産シタカトカ、其ノ周圍ト云フヤウナコトヲ能ク考ヘテ、其ノ根本ノ原因ヲ突止メテソレハ是正シテ行クト云フコトガ、今度ハ開業醫ノ一ツノ大キナ使命ニナツテ來タ譯デアリマス、詰リ今度ハ治療バカリデハナク、其ノ地方ノ人ノ生活體系ニマデズツト醫者ガ入ツテ行カナクチヤナラヌコトニナツタノデアリマス、併シ現在ノ所デハ是ハヤハリサウナツタト云フダケデ、之ニ對シテ何モ醫師トシテ發言權ガナイノデアリマス、例ヘバ體力検査ヲヤレバ其ノ結果ヲ報告スルダケデアツテ、之ニ對シテ何モ發言權ハナイノデアリマス、ダカラ例ヘバ小學校ノ校醫デアツテ、其ノ小學校ノ兒童ノ身體検査ヲ見テ居ルト云フ場合ニハ、ヤハリソレノ施策ニ參與サセル、學務委員トシテ入り得ルヤウナ制度ヲ設ケ

テ、又今度ハ町村ニ參與ト云フ制度ガ設ケラレマシタガ、ヤハリ村醫トシテ其ノ村ノ健康ヲ見テ居ル以上ハ、ヤハリ斯ウシタ參與トシテ入ルトカ、何トカ云フ程度ノ發言權、其ノ人ノ意見ヲ聽キ得ルヤウナ制度ヲ設ケテヤル、制度ニ入り込マセテヤルト云フコトガ必要デハナイカト思フノデアリマスガ、コンナ點ヲ何方御考ヘニナツタコトガアルカドウカ

○武井(群)政府委員 御話ノ筋ハ能ク分リマス、唯發言權ト云フ内容ガハツキリ致サナイノデアリマスガ、御例示ニナリマシタ體力検査醫ガ検査スレバ屆ケレバ宜イト云カ、學校醫ガ診察スレバソレデ終ツタト云フヤウナ考ヘデハ、私共政府ト致シマシテハ非常ニ足ラナイノデアリマシテ、サウデハナク、診察シ、體力検査デ検査スレバ、ソレニ付テオ前ハ斯ウ云フ所ガイケナイカラ、斯ウシタサイト云フヤウナ親切ニ色々ナ指導マデ行ツテ貰ヒタイト云フコトガ政府ノ希望デアリマシテ、從來兎モスルト體力管理醫ガ唯診察ヲシテ、サウシテ結果ニ於テ統計デ何「パーセント」要注意者ガ出來タト云フコトダケデハ、是ハ何ニモナラヌノデアリマス、サウデハナク、現實ニ診察ヲシテオ前スウシロ、斯ウ云フ生活ヲセヨト云フコトマデ一々指導シテヤル、此處ヲ政府ハ期待シテ居ルノデアリマス、學校醫ニ付テモ同様デアアル、其ノ趣旨ヲ徹底サセルコトガ必要デアリマスガ、若シ其ノ制度ガ必要ダトスルナラバ、其ノ點ハ十分ニ考ヘテ見タイト思ヒマス

○渡邊(健)委員 次官ノ言ハレタヤウニ醫者トシテハ勿論其ノ個人ニ對シテハ斯ウシナクチヤナラヌ、コンナ風ナリ方ヲシナ

クチャイカスト云フコトハ、其ノ結果ニ付テ何處マデモヤツテ行カクチャナラヌコトハ勿論デアリマス、併シ町村ノ衛生設備ガ斯ウシナケレバイカスト云フコトガアツテモ、ソレヲ村長ナリ、其ノ當局ニ斯ウシナケレバイカスト思フガヤツテ呉レト請求シタケデハ、中々實現出來ナイヤウナ狀況ニアルコトモ可ナリアルノデヤナイカト思フデアリマス、調査シタラ正式ニ調査シタコトヲ發言シ得ルヤウナ發言權——權

唯結核ノ發病防止ト云フヤウナ點ニ付テハ、至レリ盡セリト云フヤウナ方途ガ講ゼラレテ居リマス、勿論豫算關係カ何カデ完璧ヲ期スル譯ニハ行キマセヌガ、段々進ミツツアルト思ヒマス、私考ヘルノニコンナ風ニ完全ニ行ハレテ行クト云フコトニナリマス、段々地方ノ農村カラモ結核菌ト云フモノガ締出サレテ來テ參リマス、サウスルト其ノ結核ニ對シテ地方ノ農村ト云フモノハ又元ノ處女地ニナルト思ヒマス、ガカラ一且結核菌ガ元ノ處女地ニ歸ツタ所デ、一寸デモ入ツタラ又非常ナ勢ヒデ農村ニ擴ガツテ行ク虞ガアルト思ヒマス、之ニ對シテヤハリ豫防施設ヲ講ジテ行ク必要ガアルト思ヒマス、「ビー・シー・ジョー」ノ注射ハ此ノ間強

リ是ガ指導普及等ニモ、能ク了解ノ上努メルヤウニ致シテ居ル次第デアリマス
○渡邊(健)委員 ソレカラ新聞ノ發表ニ依リマスルト、専門的方面ノ雜誌ハ私モ調べテ居ナイノデ能ク分リマセヌガ「セ・ファランチン」ガ大變ニヨク效クト云フヤウナコトガ出テ居リマス、是ハ治療バカリデナク、豫防ニモ大變ナ效果ガアルト云フヤウナコトガ出テ居ルノデアリマスガ、現在結核ノ治療藥ガナイ、豫防藥トシテモ完全ナモノガナイト云フヤウナ時ニ、斯ウシタ藥ガ本當ニサウ云フ效果ガ現ハレテ居ルノダトスレバ、是ハ國家的ニ非常ニ立派ナモノダト思フノデアリマスガ、厚生省デニ對シテ何カ御研究ヲササツタコトガアリマスカドウカ、此ノ點デ伺ヒマス

願ヒ致シタイト思ヒマス、私ノ御伺ヒ致シタイト思フコトハ大體以上ノ通りデアリマス
○清水委員長 次ニ山崎君、出來ルダケ簡單ニ願ヒマス
○山崎(常)委員 船員保險法中改正法律案ノ中ノ二、三ノ箇條ニ付テ私ハ御尋ネシタイト思ヒマス、尙ホ之ヲ大體的ニ申上ゲマスルナラバ、既ニ船員保險法關係法規ガゴザイマス、其ノ上ニ今度又此ノ改正法律案ガ提案ニナリマシタコトハ、船員諸君ニ取リマシテ大變結構ナコトト考ヘマス、唯過日來各委員會ニ於テ厚生大臣、次官、其ノ他政府委員カラ、現下ノ勞働對策ニ付テ勞務者ニ對スル深甚ナル親心ガ示サレマジテ、私共其ノ方面ニ聊カオ役ヲ勤メテ居ル者トシマシテハ大變ニ心強ク感ズル次第デアリマス、併シ今度ノ改正法律案ヲ見シテモ、其ノ仕事ニ從事シテ居ル船員ニ對シテハ段段ト其ノ條件ガ良クナルヤウニ考ヘラレテ居リマスケレドモ、ソレ等ノ家族ニ對シテノ扶助法ト云ヒマスガ、保護法ト云ヒマスガ、救濟法ガ之ニハ盛ラレテ居ナイ、私共ハ之ヲ遺憾ト致シマシテ、特ニ陸上デ働イテ居ル所ノ勞務者ト違ヒマシテ、家トハ別レテ海ノ上デ働ク、其ノ勞働ニ從事シテ居ル者ト家族トノ關係、斯ウ云フコトヲ考ヘマスレバ、其ノ仕事ニ從事シテ居ル者ノ家族ニ對シマシテモ、色々ナ方法ガ今日カラ將來ニ對シテ考ヘラレナケレバナラヌト思ヒマス、是ハ此ノ船員保險法中改正法律案ノミデナイ、今議會ノ勞務ノ全體ニ付テ見マシタ時ニ、家族ニ對スル者ヘ方ガマダ薄クハナイカト云フ感ガアリマスガ、特ニ此ノ中ニ船員、海上ニ從事シテ居ル勞働者ト、

會社ノ一雇人デアリマスカラ、其ノ工場ニ出來タ患者ニ付テハ診察シテ十分ナ治療ヲ加ヘルコトハ出來ル、併シ其ノ衛生狀態ニ付テ上ニ對シテ上申スルコトハ出來ルカモ知レマセヌガ、工場主ガ厭ダト言ヘバソレマデノ話デ、何モ大シタカハナイト思ヒマス、併シ現在其ノ工場ニ雇ヘレテ居ル醫者モ醫師會ノ會員デアル以上ハ、體位向上ヲ圖ル目的ヲ持ツテ居ル會ノ會員デアリマスカラ、茲ニ強力ナ其ノ工場衛生ニ對スル發言權ヲ持ツテ、其ノ厚生問題ニ對シテハ其ノ工場ノ監督官デナケレバナラヌト思ヒマス、ガカラ其ノ監督官ニスルト云フコトハ是ハ出來ヌカモ知レマセヌガ、市町村ニ於テヤハリ其ノ地方ノ醫師ヲ其ノ地方ノ行政ニマデ幾ラカ參與シ得ルヤウナコトガ必要デヤナイカト思フノデアリマス、此ノ點御考慮ヲ御願ヒシタイト思ヒマス

シ發病率ガ三分ノ一乃至二分ノ一、死亡率ガ十三對一ト云フヤウニ政府ノ參考資料ノ中ニアリマスガ、サウシタ成績ヲ舉ゲテ居ルノデアリマスカラシテ、是ハ地方ノ農村ニモ、費用ガ澤山掛リ、一年ニ二、三回ヤラナケレバ駄目ダトスレバ可ナリ大キナ手數ダト思ヒマスガ、ヤハリ都會附近ノ農村ダケデモ斯ウシタコトヲ希望者ニヤツテヤル必要ガアルト思フノデアリマス、コンナコトヲ厚生省デハ御考ヘデアリマスカドウカ
○武井(群)政府委員 「ビー・シー・ジョー」ニ依ラズ、結核ノ豫防撲滅上萬全ヲ處置デナイト致シマシテモ、有效ナモノガアル場合ニハ、政府ト致シマシテハ本人ノ希望ニ依ツテ之ヲ施行シ普及スルコトハ努メテ居ル譯デアリマス、唯效果ガ確實デナイ場合ニ於キマシテハ、之ヲ強制スル譯ニハ參ラヌト云フダケデアリマス、隨テ其ノ途中ニ於テハ、結核豫防會等ニ於キマシテ出來得ル限

○武井(群)政府委員 「セ・ファランチン」ニ付キマシテハ世上色々ト傳ヘラレ、又學者ノ研究モ漸次進ミツツアルノデアリマス、政府ニ於キマシテモ、特ニ厚生省ニ於キマシテハ、是ガ研究ニ目下專念シテ居ル譯デアリマス、ソレ以上ノコトハマダ申上ゲラレナイ時期デゴザイマス
○渡邊(健)委員 私昨年モ一寸申上ゲタノデアリマスガ、學者ノ研究ハ相當積極的ニ之ヲ援護シテヤルコトガ宜イノデハナイカト思ヒマス、痘苗ノ問題モ、今マダ種痘法ガ改正ニナツタト云フコトヲ聞イテ居リマセヌガ、牛痘デナケレバナラヌト云フコトハ——私共モアノ成績ヲ見セデ貴ヒマシタガ、可ナリ良イ成績ヲ舉ゲテ居ルノデアリマスカラ、牛痘デナクテハイカスト云フヤウナコトハナイト思フノデアリマス、サウ云フ風ニ此ノ「セ・ファランチン」モ積極的ニ應援シテ、國民ノ幸福ノ爲ニ一段ノ御努力ヲ御

中ニ船員、海上ニ從事シテ居ル勞働者ト、

其ノ家族ト云フ問題ニ付キマシテハ考ヘル
ノデアリマス、私ガ此處デ諄々シク理窟
ヲ申上グルマデモナク、今日ノ勞働ハモウ
勞働者ガ食フ爲ノ勞働デハナイト云フコト
ハ厚生大臣モ仰セラレテ居ル、御國ノ爲ニ
御奉公ノ爲ノ仕事デアル、サウデナケレバ
嘘ダ、斯ウ言ハレル、サウスレバ其ノ身ヲ
捧ゲテ働ク者ノ爲ニ家族ノ煩ヒノナイヤウ
ナ風ニ家族ノ保護ヲ兼合セテ考ヘテ參ラナ
ケレバナラヌト思フガ、今度ノ政府當局ノ
親心ヲ聽イテ居リマシテモ、此ノ改正法律
ニ現ハレタコトヲ見マシテモ、殆ドソレガ
考ヘラレテ居ラナイノデハナイカト云フコ
トガ思ハレマス、先ヅ此ノ一點ニ付テ御尋
ネ致シマシテ、重ネテ法案ノ箇條ニ付テ一
三御尋ネ致シマス

○武井(群)政府委員 時局下船員ノ援護ヲ
徹底スルコトノ必要ナコトハ御話ノ通りデ
アリマス、政府ニ於キマシテモ先般閣議ニ
テ廣ク船員ノ援護ニ關スル方策ヲ決メラ
レタ譯デアリマス、而シテ其ノ大部分ハ遞
信省ノ主管スル所デアリマシテ、内容等ハ
御承知ノ通りデゴザイマス、其ノ一翼ト致
シマシテ船員保險法ノ改正ヲ今回提出致シ
タノデアリマス、改正條項ノコトハ御承知
ノ通りデアリマス、今御話ノ家族ヲ何故入
レナイカト云フコトニ付キマシテハ、御説
ハ洵ニ御尤モデアリマス、船員保險法立案
ノ當時ヨリ家族ノコトハ問題ニナツテ居ル
ノデゴザイマス、御承知ノ通り保
險期間ト云フヤウナモノガ、乗船ノ期間ヲ
目的ト致シテ居ル關係上、乗船下船、其ノ
期間ノ計算上、ソレト家族ノ保險トノ關係
等ヲ如何ニ結付ケルカ、色々複雑ナ問題
カアリマシテ、中々解決シ得ナイ狀態デア

リマスノデ、ソレガ爲ニ船員保險法ノ實施
ガ遅レルト云フヤウナコトガアツテハイケ
ナイト云フコトカラ、現在ノ保險法ニナツ
テ居ルノデアリマス、今回モ家族ノ問題ニ
付テハ十分考ヘタノデゴザイマス、クレドモ、
中々色々難カシイ技術的ノ問題ガアリマ
シテ、解決スルニ至ラズ、ソレガ爲ニ時機
ヲ失シテハイケナイト思ヒマシテ、當面ノ
船員保險法ノ改正ヲ致シタノデアリマス、
幸ヒニ遞信省ニ於キマシテハ援護會ヲ設ケ
ラレマシテ、取敢ヘズノ問題トシテハ遺族
等ニ對シテモ其ノ働キガアルダラウト思ヒ
マス、船員保險法ト致シマシテハ、更ニ此
ノ問題ハ研究ヲ進メテ參リタイ、斯様ニ考
ヘテ居リマス

○山崎(常)委員 私モ實ハ海上勞働ト云フ
コトニ付テハ無經驗デアリマス、クレドモ、
改正法律案及ビ從來ノ船員保險法ヲ見マシ
テ、傷害ヲ受ケタ場合ノ手當ガ主トナリマ
シテ、特ニ或ハ船ガ行方不明ニナリ、沈没
シタリ、或ハ船ノ上デ命ヲ亡クシタト云フ
ヤウナ場合ニ、殘ル家族ニ對スル所ノ扶助
ノ程度ト云フモノハ非常ニ低イ、命ヲ亡ク
シタ場合ハ四百圓未滿ノ金ガ與ヘラレルト
云フヤウナ程度ノモノデナイカト云フコト
ガ法文ニ見エテ居リマス、ソレカラ私ハ此
ノ場合序ニ申上ゲマスガ、先般厚生大臣ノ
御意見ヲ承リマシタガ、即チ勞働者災害扶
助法ニ於キマシテモ機械ニ捲込マレテ命ヲ
亡クシタ場合ニハ、是モ四百圓ニ滿タザル
所ノ金ガ家族ニ下ゲ渡サレル、斯ウ云フ現狀
ニアルト云フコトハ洵ニ遺憾ト致シマス、現下
時局ニ即應シマシタ所ノ御研究ヲ下サイマシ
テ、將來ハ是等ノ點ニ付キマシテ益、善處方ヲ
御願ヒシタイ、斯様ニ考ヘル次第デアリマス

ソレカラ是ハ舊法ノ中ニモゴザイマ
スケレドモ、新法ニモ盛ラレテアリマ
スノデ、此ノ際一言御聽キシテ置キタイト
思ヒマスガ、法案第二十八條ニ「報酬年額千
八百圓ヲ超ユル船舶職員、被保險者ノ資格
喪失當時報酬年額千八百圓ヲ超ユル船舶職
員タリシ者及勅令ヲ以テ指定スル者ノ疾病
又ハ負傷ニハ之ヲ適用セズ」トアリマスガ、
私ガ御聽キシタイと思ヒマスノハ、年報酬
千八百圓ト云ヒマスナラバ、百五十圓ノ月
給ニシカナラナイ、百五十圓ノ給料ヲ取ツ
テ居ル者ハ、今日ニ於テハ大シタコトハゴ
ザイマセメ、ソコデ負傷ヲシ、病氣ヲスル、
或ハ家族ガ病氣ヲスルト云フヤウナ場合
ニ、此ノ程度ノ俸給ヲ貰ツテ居ル者ガ、此
ノ救済ノ條文ノ中カラ除外サレルコトニナ
ルノデアリマス、是ハモウ少シ上ゲテヤル
必要ガアリハセスカト思ヒマスガ、此ノ點
ニ付キマシテノ政府ノ御考ヘヲ伺ツテ置キ
タイト思ヒマス

○平井政府委員 千八百圓ヲ以テマシテ區
切ヲ付ケマシテ、短期給付ノ對象トスルカシナ
イカト云フ點ニ付キマシテ御質問ガアリマ
シタガ、現在千八百圓ト相成ツテ居リマス
ガ、是ハ最近二回バカリ引上ゲテ參リマシ
テ千八百圓トナツタノデアリマス、ソレ以
上ハ大體高級船員ト致シマシテ、高級船員
ニ付キマシテハ陸上勞働者ト同様ニ、短期
給付ヲ致サナイ方針ニナツテ居リマスガ、
時勢ノ狀況ヲ見マシテ、尙ホ引上ゲルコト
ニハ考究シテ見タイト思ヒマス

○山崎(常)委員 御言葉ヲ承リマス、必
要ガアレバ是以上又取上ゲル御考ヘガアル、
斯ウ御聽キシテ宜シト思ヒマスガ、此ノ點
ハサウ云フ御心持ガゴザイマスナラバ、現

下ノ生活情勢カラ言ヒマスレバ、家族ヲ持
ツテ百五十圓ノ給料ヲ取ルト云フコトハ、
サシテ高額ノ給料トハ思ヒマセヌノデ、當
局ハ其ノ點ヲ御考ヘニナルト言ハレマスノ
デ、能ク是ハ善處方ヲ御願ヒシタイト思ヒ
マス

船員保險法中改正法律案ニ付テハ此ノ程
度ニ致シマシテ、此ノ際厚生大臣ノ御決意
ヲ一ツ御聽キシタイと思ヒマス、過日來本
委員會及ビ決算委員會、其ノ他ノ方面デ、
厚生大臣ノ今後ノ勞働政策ニ付テ非常ニ親
心ノアル御決意ヲ承リマシタ、是ハ日本全
國ノ勞働者ガ非常ニ頼リニシテ居ルコトト
思ヒマス、厚生大臣、厚生次官、又厚生省ノ
政府委員各位ノ熱誠ナル勞働政策ニ對スル
所ノ御熱意アル御言葉ガ、「ラジオ」ニ依リ
マシテ、新聞ニ依リマシテ、ソレガ全勞
働者ニ傳ハリマシタガ、私共ハ議會ガ濟ン
デ歸ツタナラバ、此ノ問題ヲ早速勞働者諸
君ニ報告ヲシナケレバナラヌト思ウテ居リ
マス、ソコデ全體ヲ通ジテ考ヘマス、今
度ノ四百億圓ニ餘ル大豫算カラ言ヒマスレ
バ、厚生省ガ要求シテ居ル所ノ勞務ニ對ス
ル改善方法ノ費額ト云フモノハ、微々タル
モノダト思ヒマス、厚生大臣以下政府委員
一同ガ申サレルヤウニ物デハナイ、人ダ、此
ノ點カラ考ヘマスレバ百尺竿頭一步モ二步
モ進メマシテ、ドウシテモ人ガ大切ダト
云フコトヲ御考ヘ下サイマスレバ、マダ〳〵
大キナ費額ガ要求サレナケバナラナイ、
何ト致シマシテモ御考ヘノ如クニ人デアリ
マス、サウ云フ點カラ考ヘマス、時ニ、私ハ
本議會ヲ通ジマシテ厚生省カラ本八十一議
會ニ、勞働政策ノ根本ニ觸レル所ノ法案ガ
出テ居ラナイ、豫算モノレニ準ジテ出テ居

ナイト云フコトハ洵ニ遺憾ニ存ジマス、併シ是ハ時局ノ推移ニ依ツテ、斯様ナ状態ニナツテ居リマスノデ、已ムヲ得ナイトシマシテモ、次ノ議會、或ハ次ノ特別議會ニ於テハ十分ナ考慮ヲ拂ハレテ、多クノ法案ガ出サレ費額モ多ク見積ツテ戴ケマスカドウカ、其ノ御決意ト云ツテハ甚ダ失禮カモ知レマセヌガ、私或ル本ヲ見マシタ時ニ斯ウ云フコトガ言ハレテ居ル、「此ノ君ノ爲メ此ノ國ヲ護リテ我レ征カン」、斯ウ云フコトヲ或ル書物デ見タコトガアリマスガ、我が國ノ全勞働者カラ本當ニ溫カイ父ノ如クニ慕ハレテ居ル厚生大臣ハ、凡ユル點ニ於テ命ヲ賭シテ、日本ノ勞働者ノ親トナツテ御勤キ下サレ、「此ノ君ノ爲メ此ノ國ヲ護リテ我レ征カン」ト云フ一大覺悟ヲ以テ進シテ戴ク、斯ウ云フ御決意ガアリマスガ、私ハ其ノ御考ヘラ承ツテ國ノ土產ニシタイト思ヒマス

○小泉國務大臣 過去ニ於キマシテ色々ナ機會ニ申上ゲマシタ通り、今日ノ國內必勝體制ヲ確立スル第一歩ハ生産ノ増強ニアリマシテ、其ノ根本ハ勤勞者ノ總力ヲ發揮スルコトニアルコトハ、私ノミナラズ、政府モ確信致シテ居リマス、隨テ之ニ必要ナル所ノ經費ハ出來ルダケ、即チ人ノ問題デアリマスノデ、金デ處理出來ルモノハ何處マデモ處理シテ行ク考ヘデアリマス、又之ニ伴ヒマスル勤勞ノ根本法トモ言フベキモノハ、過日モ申上ゲマシタ通り、今日ニ於テモ省内ニ於テハ一應ノ案ハ見デ居リマス、是ハ全國ノ衆智ヲ集メタモノトシテ完璧ナモノヲ出シタイ、是ハ歷史的ノ、即チ勤勞ノ根本法トナラナレバナリマセヌノデ、サウ云フ意味ニ於キマシテ、慎重ヲ期シテ今研究ヲ進メツツアリマス、出來ルダケ近キ

將來ニ於テ是ガ成立ヲ見ルヤウニ、又ソレニ伴ヒマシテ當然經費、其ノ他ハ遺憾ナイヤウニ處置スル決意ヲ持ツテ居リマス
○清水委員長 船員保險法中改正法律案ニ對スル質疑ハ之ヲ以テ終了致シマシタ、午後ハ一時ヨリ再開シテ、軍事扶助法中改正法律案ノ質疑ヲ繼續致シタイト思ヒマス、暫時休憩致シマス
午前十一時五十一分休憩
午後一時十六分開議
○清水委員長 是ヨリ軍事扶助法中改正法律案ニ對スル質疑ヲ繼續致シマス——伊藤東一郎君

○伊藤東一郎委員 軍人若クハ之ニ準ズル人ノ家族、遺族ノ方々ガ家門ノ榮譽ヲ飽マデモ貫キ通サウト云フ矜持ヲ持ツテ居リマシテ、日夜能ク其ノ留守ヲ守リ、奮闘努力シテ居ラレマスルコトハ、一億國民ノ感激ニ堪ヘザル所デアリマス、私ノ直グ隣リニ藤代藤吉ト云フ者ガ居リマシテ、齡ハ既ニ七十ノ坂ヲ越エテ居リマス、極クホンノ小サヤカナ小賣商ヲ致シテ居リマシテ、夫婦ノ中ニ一人ノ倅ガアツタノデアリマシタガ、其ノ息子ガ支那事變ノ勃發ヲ致シマスルヤ、直チニ應召ヲ致シマシテ、大陸ノ山野ニ轉戰致シテ居ツタノデゴザイマスガ、不幸ニシテ名譽ノ戰死ヲ遂ゲタノデアリマス、此ノ遺骨ガ着シマシテ、村葬ガ終リマシテ、斯ウシタ小サヤカナ商人ノコトデアリマサルカラ、三度ガ三度ノ御位牌ニ對スルオ給仕ハ出來マセヌケレドモ、少クトモ朝晩ノ二度ハ毎日ソレヲ缺カサズオ給仕ヲシテ居リマス、殊ニ食事ノ時ハ、其ノ据エタ蔭膳ヲ老ヒタル夫婦ガ取圍ンデセメテハ亡クナツ

タ息子ト共ニ其ノ食事ヲ戴カウト心掛デアリマセウ、其ノ時ニ此ノ藤代藤吉君ハ何ト云フテ居ル、日本國民トシテ、殊ニ軍籍ニ身ヲ投ジタ以上ハ今日アルコトハ豫テ覺悟ダ、ドウセ早イカ遅イカ死ナナケナバナラス、ソレニオ前ハ國家ノ爲ニ潔ク一命ヲ投棄テテ呉レタ、靖國神社ノアノ招魂祭ニ參列ヲシテ、俺ハ心カラ國家ノ有難サヲ知ツタト共ニ畏クモ、兩陛下ノ御親拜ヲ辱ウシタ其ノ時ニハ、實ニ心ノ底カラ感激ヲシタゾ、其ノ後ニ於ケル御手厚イ所ノ吾々遺族ニ對スル御配慮、是モ一ニオ前ガ國家ノ爲ニ死ンダ御蔭ダ、カト云ツテ吾々ハ其ノ御厚意ニ甘エテ遊ンデ居ル譯ニハ行カナイ、飽クマデモ老ノ身ノ及ブ限り働カサシテ戴イテ、セメテハ是デモワシノ國家ニ對スル御奉公ノ一部ダト思フテ居ル、ドウカ日本ガ大勝利ヲ得ルヤウニ九段ノ社頭デオ前モ靜カニ瞑目シテ祈ツテ居ツテ呉レ、是ガ藤代藤吉君ガ五年來毎朝、毎夕缺カサザル自分ノ倅ノ位牌ニ對シテノ物語デアリマス

尚ホ暫ク御許シ戴キマスガ、其ノ又隣リニ桃太郎ト云フ料理屋ガアリマシタ、此處ノ息子モ亦名譽ノ戰死ヲ遂ゲマシタ、其ノ時ニ私直チニ弔問ニ參リマシテ、國家ノ御爲メトハ言ヒナガラ、洵ニ私情ニ於テハ御同情ヲ致シマスル、ト申シマシタラ、イヤ、ソレハ伊藤サン、其ノ言葉ハ止メテ戴キタイ、吾々料理屋風情ノ息子ガ、有難イコトニ國家ノ爲ニ一命ヲ捧ゲサシテ戴キマシタコトハ實ニ家門ノ名譽デアリマス、ドウカヨク死ンダト云ウテヤツテ下サイ、是ガ其ノ人ノ言葉デアリマシタ、爾來其ノ主人ハ、田舎ノコトデスカラ、小料理屋デアリマスケレドモ、ソレヲ廢メマシテ、今日マデ、養老ノ菊水樓ト云フ料理屋ヘ毎日々々板前トシテ通勤致シテ居リマス傍ラ、苟クモ地方ニ軍事ノ軍ノ字ガ附イテ居ル會ガアル時ハ、私ハ倅ノ代理ニ罷リ出デマシタ、ト云ウテ銃後ノ援護ノ方面ニ付テ渾身ノ努力ヲ傾倒致シテ居リマス、斯ウシタ事例ヲ申上ゲマスルト、數限リハゴザイマセヌガ、軍事扶助ヲ初メトシテ、軍事援護ノ事業ガ此處マデ徹底致シテ居ルコトニ思ヒ及ビマスル時ニ、是デコソ本當ニ軍事扶助及ビ軍人援護ガ生キテ働イテ居ルモノデアル、是デコソ本當ニ皇國日本ナラデハ見ラレナイ光景ダト思ヒマシテ、私ハ常ニ此ノ光景ニ勵マサレテ、私自ラモ顧ミル所ガ多アルノデゴザイマス、此ノ私ノ申上ゲマシタ物語ヲ御聽取リヲ蒙リマシテ、大臣ニ於カセラレマシテハ如何ナル御感想ヲ御持チ下サイマスルヤ、失禮ナガラ先ヅ以テソレヲ拜承致シタウ存ズルノデゴザイマス

○小泉國務大臣 只今洵ニ感激スベキ事例ノ御話ガゴザイマシテ、私共軍人援護ノ徹底強化ヲ常ニ心ニ致シテ居ル者ト致シマシテハ、斯クアルコトガ全國ノ津々浦々、到ル處ニ行クヤウニ致シタイト考ヘル次第デアリマス、國ノ中ニハ勿論只今御話ノヤウナ方々ガ非常ニ多イコトヲ確信致シテ居リマスルガ、マダ更ニ之ヲ徹底強化スルコトノ必要ナルコトヲ、只今ノ感激スベキ御話ヲ伺フニ付ケテモ、尚ホ強ク感ズル次第デアリマス

御承知ノ通りニ軍人援護、是ハ政府ノ特色ヲ施設ガアリマスルガ、是ト共ニ援護精神ノ昂揚、國民全部ノ援護精神ノ昂揚ト云フコトガ最モ必要ナノデアリマシテ、毎年定期ニ軍人援護強化運動ト云フヤウナモノ

第六類第十五號 藥事法案外二件委員會議錄 第九回 昭和十八年二月二十五日

一八九

ヲ起シテ居リマスルノモ、此ノ徹底強化ヲ期スル爲デゴザイマス、斯ノ如キ方ガオイデニナルト云フコトハ何處マデモ是ハ有難イコトデアアル、今ノ御話ノ、其ノ事例ノ方ノ仰セラレルマデモナク、洵ニ有難イ日本ノ姿デアルト私ハ感じマス、隨ヒマシテ斯ウ云フヤウナ事例ヲ願ハクハ此ノ軍人援護強化運動ノ中ニ織込ミマシテ、軍人援護精神ヲ青少年ニマデ、又如何ナル人ニモ能ク是ガ分リ、是ガ即チ援護強化トナリ、或ハ援護宣傳トナリ、機會アル毎ニ斯ウ云フ事例ヲ以テ援護精神ノ昂揚ニドウシテモ今後一層力強ク努メテ參ラナレバナラス、斯ウ感ズル次第デゴザイマス

○伊藤(東)委員 大臣ノ御所信ヲ拜承致シマシテ更ニ感激ヲ深ウスルモノデアリマス、大臣ノ仰セノ如ク軍人援護精神ノ昂揚ハ、大東亞戰爭目的完遂ノ推進力ノ一ツデアリマス、辱ナクモ御仁恵ヲ奉戴シ、隣保相扶ノ精神ニ則リマシテ、軍人並ニ軍人ニ準ズル人ノ家族、遺族一人ト雖モ其ノ所ヲ得ザル者ナキコトヲ期シテ徹底セシムベキデアルト存ジマス、此ノ點ニ付キマシテハ只今大臣ノ御意見ヲ拜聽致シマシテ、洵ニ私共感銘ヲ致シタ次第デゴザイマス、併シ支那事變ガ起リマシテカラ既ニ六年、大東亞戰爭ハ決戦ノ連續タル長期持久ノ性格ヲ明カニシテ參リマシタ時、軍事扶助ヲ初メト致シマシテ軍人援護ノ眞精神ヲ一層國民ノ間ニ漏レナク滲透セシムル必要ノアリマスルコト、是亦大臣ガ御所見ヲ御述ベニナリマシタカラ此處デ御所見ヲ承ル必要ハアリマセヌガ、併シソレト同時ニ、又一面ニ於キマシテハ軍人並ニ之ニ準ズル人ノ家族、遺族ニ對スル所ノ精神的ノ教化並ニ日常生活

活ノ具體的指導方面ヲモ重要視サレマシテ、今後一層有效適切ナル御處置ヲ講ジナケレバナラナイト存ジマスガ、此ノ邊ニ對スル御所見ヲ併セテ御伺ヒヲ致シマス

○小泉國務大臣 御話ノ通り軍人ノ遺族家族ヲシテ國民ノ軍人援護ニ應ヘテ、只今御話ノ例ニモアリマシタ如ク、報恩感謝ノ生活ニ徹底スル、自奮自勵ノ精神ヲ以テ世ニ處スルト云フ風ニ行カナレバナラナイト存ジテ居リマス、是ガ爲ニ政府ト致シマシテハ、明年度ニ於テ遺族家族ノ指導ヲサレル方ニ今囑託シテ色々御骨折ヲ願ツテ居リマスガ、此ノ方々ノ増員ヲ今計畫シテ居リマス、尙ホ其ノ外ニ遺族家族ノ修養ノ會、或ハオ互ヒニ懇談ヲサレル會ト云フヤウナモノノ實施ヲ今日以上ニ一層強化致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○伊藤(東)委員 ドウモ色々御手配畏レ入リマス、就キマシテハ軍事扶助法ノ生活扶助ニ對シテデアリマスガ、追々物價モ昂騰シテ參リマシテ、六大都市ニ於ケル扶助金額一日七十錢、或ハ地方ニ於ケル扶助四十錢ト云フ額ヲ御増額願ハナケレバナラナイ場合ニモ立到ルノデハナイカト存ジマスガ、政府ニ於キマシテハ此ノ點ニ付テ如何ナル御意見ガアラセラレマスカ御伺ヒヲ致シマス

○藤原政府委員 伊藤委員ノ只今ノ御尋ネニ付テ私カラ御答ヘテ致シマス、軍事扶助法ノ扶助ノ限度ニ付キマシテハ、只今御話モアリマシタヤウニ、最高七十錢、最低ハ四十三錢ト云フヤウニ、一人ノ一日ノ生活扶助額ノ限度ヲ定メテ居ルノデアリマスガ、今日ノ物價ノ模様、經濟界ノ狀況等カラ致シマシテ、是デ果シテ適當カドウカニ付キ

マシテハ、吾々其ノコトニ携ハツテ居リマス者トシテハ絶エズ注意ヲ致シテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ現在ニ於テモ其ノコトニ關シテハ實情ニ付テ目下調査ヲ致シテ居ルヤウナ次第デアリマス、調査ノ結果ヲ俟チマシテ何分トモ善處致シタイト思ヒマス

○伊藤(東)委員 ドウカ其ノ點ニ付キマシテハ十分ノ御注意ヲ御願ヒ致シマス、軍事保護院デハ昭和十五年二月軍事援護教育要綱ヲ作リマシテ、文部省ト協力ノ下ニ師範訓練ニ對シテ軍人援護教育ヲ施ス、或ハ援護教育指導法ト云フノヲ設定サレマシテ、教壇ヲ通ジテ次代ヲ擔フ少國民ニ軍人援護精神ヲ吹込ミ、以テ學童ノ援護思想ノ昂揚ヲ期スルヤウ圖ラレテ居ルト拜聽致シテ居リマスガ、其ノ後ノ成績ハ如何デアリマセウカ、御伺ヒ致シマス

○藤原政府委員 御話ノ通り軍事保護院ト致シマシテハ、先年中等學校、青年學校並ニ國民學校ノ生徒指導ニ對スル軍人援護ノ教育ノ徹底ヲ期シマス、教育要綱カモモノヲ定メマシテ、之レニ則ツテ此ノ方面ノ教育ノ徹底ヲ期シテ參ツテ居ルノデアリマス、又一面ニ於キマシテ、御話モアリマシタヤウニ、之ニ伴ヒマスル具體的ナ教育方針ト云フモノヲ國民學校兒童ノ教育用トシテ作リマシテ、其ノ徹底ヲ併セ期シテ參ツテ居ルノデアリマス、今日マデノ成果ヲ見マスト、此ノ要綱並ニ教育ノ方針ヲ基礎ト致シマシテ、各學校ニ於キマシテ軍事援護教育ノ普及徹底ト云フコトニ非常ニ力ヲ入レテ吳レテ居リマス、其ノ成果モ相當ニ上ツテ居ルヤウニ存ジテ居ルノデアリマス、尙又青少年ノ此ノ種ノ教育ノ徹

底ト云フコトニ付キマシテハ特ニ力ヲ入レル必要ガアリマス、其ノ外ニ於キマシテモ種々施設ヲ致シテ居ルノデアリマス、例ヘバ國民學校、或ハ中等學校ニ於キマシテ此ノ種ノ教育ノ指定學校ヲ設ケ、其ノ學校ヲ中心ニ指導ヲ加ヘマシテ、之ニ對スル教育ノ徹底ヲ圖ツテ、他ノ範トスルト云フヤウナコトモ致シテ居ルノデアリマス、是等ノ各種ノ施設ハ今日マデノ所ニ於キマシテハ相當ノ成績ヲ擧ゲテ居ルヤウニ存ジマス

○伊藤(東)委員 此ノ目論見ハ至極結構ナル目論見ト拜察致シマス、只今モ御述ベニカリマシタガ、中等學校、殊ニ女學校アタリニハ格別此ノ精神ノ教養ニ御努メ願フ必要ガアルト思フノデアリマス、御所見如何デアリマセウカ

○藤原政府委員 只今申述ベマシタ中ノ教育要綱ニ付キマシテハ、國民學校、青年學校ノミナラズ、中等學校モ同様ナ考ヘテ以テ推シ及ボス意味ニ於テノ要綱ヲ作成シ、之レニ依ツテ指導ヲ加ヘテ參ツテ居ルノデアリマスガ、教育方針ト云フコトニ付キマシテハ、今日マデノ所デハ國民學校ニ對スル分ノミヲ拵ヘテ實施セシメテ居ルヤウナ次第デアリマス、中等學校、殊ニ御話ノ高等女學校アタリニ對シテモ其ノ必要ノアリマス、教育方針ノ事柄ニ關シマシテハ、如何セン御承知ノヤウニ現在ノ所デハ中等學校ノ教科書ハ國定ノ制度ヲ設ケテ居リマセヌ、檢定ノ教科書制度ヲ採ツテ居リマス、是各種ノ教科書ガ用ヒラレテ居ルヤウナ實情デアリマス、是等ノ各種ノ教科書ニ向ツテ一々其ノ内容ニ付テノ方針ヲ設ケマスコト

ハ、非常ニ煩多デアリマスノデ、困難ヲ感
ジテ居ルヤウナ實情デアリマスガ、將來學
制改革ノ結果、中等學校ノ教科書ニ對シテ
モ國定ノ制度ガ定メラレルヤウニ承知シテ
居リマスルノデ、其ノ場合ニ於キマシテハ、
其ノ方面ニ對スル教育指針モ作ツテ參リタ
イ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、現在
ノ所ニ於キマシテハ、指針其ノモノハマダ
作ルコトハ出來マセヌケレドモ、其ノ精神
ヲ持チマシタル趣旨ノ指導ノ要領ヲ、中
等學校方面ニモ推シ及ボシテ行キタイ、斯
ウ云フ意味ヲ以チマシテ、中等學校ノ教師
ニ對シテモ、此ノ種ノ講習若クハ協議會ト
云フヤウナコトヲモ計畫致シテ徹底ヲスル
考ヘデアリマス

シテ、家ニ依リ或ハ場所、地域等ニ依リマ
シテ不均衡ヲ來サシメナイヤウニ注意ヲ致
シマスルコトノ必要デアリマスルコトハ、御
説ノ通りデアリマス、吾々之ヲ扱ヒマス者
ト致シマシテモ、其ノ點ニ付テハ絶エズ留
意ヲ加ヘテ居ルノデアリマスルガ、軍事扶
助ノ實施ニ當リマシテハ、又一面ニ於キマ
シテ迅速ニ是ガ交付ヲ致スト云フコトモ、
取扱ヒ上大切ナ事柄デアリマス、ソコデ迅
速ニ處理ヲ致スト同時ニ、一面ニ於テ之ヲ
適正ニ行フト云フ此ノ兩面ヲ心掛ケテ行カ
ナケレバナラスノデアリマス、最近軍事扶
助法ノ施行令ヲ改正致シマシテ、從來是ガ
執行機關ハ地方長官デアリマシタモノヲ、
地方事務所長、支廳長、市長ト云フ風ニ、地
方長官ノ執行機關タル權限ヲ一段下級ノ行
政廳ニ委任ヲ致シマシタヤウナコトモゴザ
イマシタ、是ハ即チ只今申上ガマシタ迅速
ニ行フト云フ趣旨カラ出デ居ルノデアリマ
ス、左様ナ事柄ト、又一面知事ガ一人決
定ヲ致シマスル場合ト違ヒマシテ、地方事
務所長、或ハ市長ト云フヤウナ多數ノ人ガ
之ヲ決定實施スルコト云フコトニナリマスル
以上、更ニ一段ト此ノ點ニ付テ均衡ヲ圖ツ
テ行ク、不公平ナカラシムルト云フコトニ
留意ヲ致サナケレバナラスト考ヘテ居ルノ
デアリマス、此ノ意味ニ於キマシテ現在ニ
於キマシテハ、地方長官ヲシテ此ノ執行機
關タル各地方事務所長、支廳長、市長ノ軍
事扶助ノ實施ニ付テノ模様ヲ絶エズ監査ヲ
シテ、サウシテ彼此其ノ間不公平ノ結果ニ
ナルガ如キコトノナカラシムルヤウニ、十
分留意セシムルヤウニ致シテ居ルノデアリ
マス、尙ホ又各府縣ノ間ノ均衡ヲ圖リマス
爲ニハ、政府直接ニ時々定期ニ其ノ實施ノ

狀況ヲ報告セシメテ居リマスルシ、又其ノ
他ニ中央カラ地方廳ニ向ツテノ監査モ致シ
テ居リマスルヤウナ譯デアリマス、之ヲ要
スルニ軍事扶助ノ迅速ニシテ而モ適正ニ行
ハレマスルコトヲ吾々留意シテ參ツテ居リ
マスルヤウナ次第デアリマス

於キマシテハ、財源ニ非常ニ困惑ヲシテ居
ルヤウナ實情ガゴザイマス、隨ヒマシテ、
支部ニ於テ行ツテ居リマスル事業ノ一ツト
致シマシテ、軍事扶助法以外ノ、所謂法外
援護事業ト稱シテ居リマスルガ、左様ナ方
面ノ施設ニ付キマシテモ、支部ノ財力ノ厚
薄ニ依リマシテ、ソレヲ實施シマスル場合
ノ、之ヲ受ケル入ニ對スル又厚薄ノ事實ガ
出デ居リマスルヤウナコトガゴザイマス、
ソコデ斯クノ如キコトハ先刻ノ御尋ネノ點
ノ趣旨カラ申シマシテモ、吾々速カニ改ム
ベキモノナリト考ヘテ居ルノデアリマスガ、
之ヲ是正致シマスル必要ヲ認メマシテ、今
回ハ各支部ニ於テ財源ノ調達ヲ支部限リニ
於テ圖ルト云フ行キ方ヲ改メマシテ、サウ
シテ軍人援護會ノ本部ニ於テ相當多額ノ資
金ヲ集メテ、本部カラ各支部ニ其ノ事業ノ
經費ノ主要ナル部分ヲ交付スル、本部カラ
支部ニ對スル交付金ト云フ行キ方ニ依リマ
シテ、適正ニソレヲ配分スル、之ニ依リマ
シテ丁度税ニ於キマシテノ分與税ノ如キ作
用ヲ致シマスル交付金ヲ各支部ニ交付スル
コトニ依ツテ、是ガ是正ヲ圖ツテ行ク、斯
ウ云フヤウナ計畫ヲ以テ目下着々ト進メテ
居ルヤウナ譯デアリマス

〔委員長退席、渡邊委員長代理着席〕
其ノ他ノ點ニ付キマシテモゴザイマスケレ
ドモ、極ク主ナル點ニ付キマシテハ只今申
上ガマシタヤウナ點ノ改正ヲ急イデ居ルヤ
ウナ次第デアリマス

○伊藤(東)委員 軍人援護事業ガ追々ト擴
大サレマスルニ付キマシテ、是ガ運營ノ機
構ト云フモノハ今ヤ殆ド完備ノ域ニ到達ヲ
致シマシテ、官民一體一丸トナツテ戰時下
ニ於テ實施サレツツアリマスルコトハ、此
ノ間ニ於ケル政府ノ御配慮ヲ感謝致シマス
ルト共ニ、何ヨリノコトデアルト、私ハ常
ニ喜ンデ居ルモノデアリマス、併シナガラ
地方ノ實情ト致シマシテハ、町村ノ經濟力
ノ相違、又其ノ局ニ當ル人ノ適不適、熱意
ノ厚薄等ニ依リマシテ、實ハ同一程度ノ家
庭事情デアリナガラモ、其ノ受ケル扶助ノ
内容ニ於キマシテハ相當ノ開キガアルコト
モ亦事實デアリマス、勿論是等ノコトハ兵
馬倥傯ノ際デアリ、何レノ方面モ不慣レデ
アツタガ爲デアルトハ申スモノノ、何トカ
一日モ早く此ノ邊ヲ御調整ニナツテ然ルベ
キダト存ズルノデアリマスガ、此ノ點ニ對
スル御所見ヲ御伺ヒ致シマス

○藤原政府委員 軍事扶助ノ實施ニ當リマ
爲ニハ、政府直接ニ時々定期ニ其ノ實施ノ

○伊藤(東)委員 拜イ所ヘ手ノ届クヤウナ
御配慮洵ニ感謝ニ堪ヘマセヌ、所デ軍人援
護會ノ地方支部ノ組織ニ付キマシテハ、此
ノ際或ハ再檢討ヲ要スルノデハナイカト考
ヘサセラレルノデアリマスガ、此ノ點ニ付
テ如何ナル御所見デアリマスルカ御伺ヒシ
タイト思ヒマス

○藤原政府委員 軍人援護會ノ地方支部ノ
コトニ付テ御尋ネデゴザイマスガ、軍人援
護會ノ地方支部ノ從來ノ軍人援護實施ノ成
績、狀況ヲ觀察致シマスルト、御話ノ通り
現狀ノ儘ヲ以テシテハ必ズシモ適當デナイ
ト考ヘラレマスル點ガアルヤウニ存ズルノ
デアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ、實ハ
軍人援護會本部トモ折衝協議ヲ致シマシテ、
現狀ノ改ムベキ點ヲ速カニ刷新スルト云フ
計畫ヲ以テ今日進ンデ居リマスルヤウナ譯デ
アリマス、其ノ中ノ主要ナル點ニ付テ申上
ゲテ見マスレバ、現在マデノ軍人援護會ノ
地方ノ支部ノヤツテ居リマスル仕事ハ、大略
其ノ財源ヲ捻出致シマシテ、サウシテソレ
ニ依ツテ其ノ地方ノ實情ニ適合スルヤウナ
援護事業ヲ實施シテ參ツテ居ル實情デアリ
マスガ、其ノ結果ハ、支部ノ財力ガ非常ニ
格段ノ差ガゴザイマシテ、大都市ヲ含ンデ
居リマスル方面ノ支部ハ可ナリ財源ヲ持
チ、又事業ノ内容モ相當成績ヲ擧ゲテ居ル
ノデアリマスガ、然ラザル中以下ノ支部ニ

○伊藤(東)委員 更ニ市町村ノ統後奉公會
ニ付キマシテハ、一段ト強化擴充ノ必要ガアル
ト確信ヲ致スノデアリマス、先程一寸御述
ベニナリマシタヤウニ、最近地方事務所ナ
リ、或ハ市廳ヲ中心ト致シマシテ、軍人援

護會トカ云フ名ノ下ニ各奉公會ノ會長ニ依ツテ會ガ組織サレマシテ、軍人援護ノ敏速確實ナル御徹底ト云フコトヲ圖ラレコトニ相成リマシタコトハ、洵ニ喜バベキコトデアリマス。ケレドモ、軍人援護精神ノ昂揚徹底トカ、軍人遺家族ノ精神的ノ強化トカ、又日常生活ノ具體的指導トカ、斯ウシタ前述ベマシタコトト云フモノハ、一懸ツテ銃後奉公會ガナサネバナラス所ノ事業デアリマス、所ガ其ノ奉公會ガ遺憾ナコトニハ活動ノ手足ヲ持ツテ居リマセヌカラ、十分ナル實績ヲ擧ゲ得ナイ向キガ相當ニアリマス、隨ヒマシテ、私ノ愚見ヲ御參考ニ申上ゲマスナレバ、從來調査、若シクハ生活指導方面ナドニ付キマシテ専門的ノ知識ナリ、技能ナリ、經驗ナリヲ有シテ居リマス機關、即チ方面委員ノ如キニ積極的協力參加ヲ求メラレマシテ、是ト一體關係ニ於テ萬全ヲ盡サレテハ如何ナモノデゴザイマセウ、更ニ又此ノ際申上ゲテハ甚ダ恐縮デアリマスガ、日本婦人會デアリマス、日本婦人會ガ事業始マツテ以來、銃後ノ援護ニ對シマシテ貢獻サレマシタ所ノ功績ト云フモノハ多大ナルモノガアリマス、是モ亦一例ヲ申上ゲマシテ甚ダ恐縮デゴザイマスガ、大垣ヲ去ルコト約十二里ノ北ノ方ノ揖斐郡ニ久瀨村ト云フ村ガアリマス、極ク山間部デアリマシテ、醫者ノアル所ノ揖斐町ト云フ人口約五千バカリアリマス町マデ出ルノニ三里アリマス、二三年前ノコトデスガ、出征軍人ノ家族ノ中ニ、一人赤チヤンガ急病ヲ起シマシテ、醫者ヲ迎ヘニ行カケレバナラナイ、命且タニ迫ツテ居ル、丁度ソレガ冬ノ初メデ、積雪約一尺、揖斐町マデ醫者ヲ迎ヘニ參リマシタ、所ガ雪ノ爲ニ醫者ガ來

テ吳レナカッタ、ソレヲ聞キマシタ久瀨村ノ婦人會ノ連中ハ、直チニ欽ト等ヲ持ツテ出マシテ、其ノ三里ノ道ノ雪除ケヲ致シマシテ、サウシテ醫者ヲ迎ヘテ、遂ニ命且タニ迫ツテ居ル赤チヤンノ命サヘモ助ケタト云フコトガアルデアリマス、婦人會ノ中ニハ中々ニ斯ウシタ方面ニ泣カサレガ如キ働キヲシテ居ル人ガアリマス、カルガ故ニ、斯ウシタ婦人會ニモ亦働キ掛ケテ、殊ニ未亡人ノ如キヲ慰ムルニハ、又女ハ女同志デアリマシテ、男子ヨリモ最モ適當ダト考ヘマスカラ、更ニ婦人會アタリニモ呼掛ケラレマシテ、シツカリシタ手足ヲ作ツテ、此ノ際銃後奉公會ニ筋金ヲ入レテ戴ク必要ガアラウト考ヘルデアリマスガ、政府ノ御所見如何デアリマセウカ

○藤原政府委員

銃後奉公會ノ活動促進ヲスルコトニ付キマシテ、意見ヲ加ヘテノ御尋ネ、洵ニ御尤モダト存ジテ居ルデアリマス、御話ノ通り、政府ト致シマシテハ、此ノ軍人援護ノコトニ付キマシテハ、政府ノ對策指導ト相俟ツテ、一面ニ於キマシテ國民ノ盛リ上ル所ノ軍人援護ノ協力ト云フコトガナケレバ、ドウシテモ此ノ完璧ヲ期スルコトガ出來ナイデアリマス、其ノ意味カラ致シマスルト、隣保相扶ノ精神ニ基キマシテ軍人援護ノ眞ノ國民的協力ヲシテ行クト云フ中核團體ハ銃後奉公會デゴザイマス、隨ヒマシテ此ノ銃後奉公會ノ活動ヲ徹底強化スルコト云フコトハ、此ノ際是非トモ必要ナコトデゴザイマス、御承知ノ通り各市町村ニ於キマス銃後奉公會ハ、役員ト致シマシテハ其ノ町村ノ主ナル人ヲ網羅スル體制ヲ以テ組織致シテ居リマスルケレドモ、實際ニ専心此ノ事ニ當ツテ行クト云

フ、所謂御話ノ手足ト云フヤウナ人ハ割合ニ少イデアリマシテ、隨テ其ノ活動ヲ致シマスル上ニ於キマシテ、尙ホ遺憾ノ點ガアルデアリマス、其ノ意味カラ致シマシテ、其ノ銃後奉公會ノ眞ニ活動ヲシテ行キマスル手足トナツテ働イテ下サル人ノ宜シキヲ得ルト云フコトガ最モ大切ナデアリマスルガ、其ノ意味ニ於キマシテ御話ノ方面委員聯盟、或ハ大日本婦人會等ニ呼ビ掛ケテ、其ノ協力ヲ求メルト云フコトハドウカト云フ御尋ネデゴザイマスガ、此ノ點ハ吾々モ其ノ必要ガ十分ニアルト考ヘテ居ルデアリマス、現ニ政府ト致シマシテハ、是等ノ團體ト連絡ヲ致シマシテ、其ノ協力ヲ求メテ居ルヤウナ次第デアリマス、唯方面委員ノ活動ヲ御願ヒスルト云フ場合ニ於キマシテハ、特ニ留意ヲシナケレバナラヌ點ガアルト思フデアリマス、ソレハ方面委員ノ從來取扱ツテ居ラレマス所ノ仕事ハ、所謂社會事業ノ方面ニ關シテノ事柄デアリマシテ、此ノ軍人援護ノ事柄タルヤ、是ハ決シテ社會事業デハナイデアリマス、隨ヒマシテ方面委員ノ方ノ活動ヲ願ヒ、協力ヲシテ戴キマスル場合ニ於テハ、其ノ指導精神ニ於テ社會事業トハ全然違フト云フコトヲ深く認識サレタ上ニ於テ、此ノ仕事ニ協力ヲシテ戴カケレバナラスト考ヘテ居ルデアリマス、併シナガラ方面委員其ノ人ノ從來生活指導、或ハ援護ト云フヤウナコトニ付テノ體驗、或ハ技能ト云フヤウナ點ニ付テノ貴キ經驗ヲ此ノ方面ニ活用シテ戴クコトハ洵ニ結構ナコトデアアル、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○伊藤(東)委員

ドウカ此ノ筋金ヲ此ノ際シツカリ入レテ戴キタイコトヲ熱望致スモノデアリマス、重ネテ申上ゲマスガ、軍人援護精神ノ昂揚ハ征戰目的完遂ノ推進力ノ一ツデゴザイマス、殊ニ傷痍軍人ハ死生ノ巷ニ身ヲ挺シテ一意盡忠報國ノ誠ヲ致シタ所ノ眞ノ體驗者デアリマス、隨ヒマシテ再ビ第一線ニ立ツ時ハ言ハズモガナ、更ニ銃後陣頭指揮ニ是等ノ人ガ任ジマシタ時ニハ、如何ニ國民志氣ノ昂揚、戦力増強ニ寄與スルコトノ大ナルカラ信ジマシテ、全國民ハ是等ノ人々ノ再起奉公ノ速カナランコトヲ祈念シテ已マザル所デアリマス、而シテ其ノ銃後ノ陣頭指揮ニ任ジマシテ戦力増強ニ寄與シテ貴ヒマスル爲ニハ、ソレノ適應セラル所ノ再教育ヲ施シテ、而シテ其ノ職場ヲ與ヘ、且ツ是等ノ青壯年期ニアリマスル所ノ人々ニ、適當ナル配偶者ヲ與ヘルト云フコトガ必要デアラウト思フデアリマスルガ、此ノ點ニ付キマシテ如何ナル御考ヘヲ持ツテ居ラレマスカ伺ヒタイト思ヒマス

○藤原政府委員

傷痍軍人ノ職業保護ノ大切デアリマスルコトハ、昨日モ御尋ネノ際ニ申上ゲタヤウナ次第デアリマス、職業保護ノ上カラ致シマシテ傷痍ノ爲ニ原職ニ復歸スルコトガ出來ナイ者ニ對シマシテハ、職業ノ新方面ニ向ツテ進ム爲ノ準備トシマシテ、再教育ヲ致シマスルコトガ必要デゴザイマス、其ノ爲ニ政府ニ於キマシテモ現ニ國立ノ職業輔導所ヲ二箇所、又財團法人啓成社ヲシテ國立ノ代行機關トシテ施設經營ヲ致サシメテ居リマスルモノガ一箇所、其ノ外ニ教員ト致シマシテハ或ハ中等教員、或ハ國民學校ノ教員ト云フヤウナ方面ニ對シテノ再教育ノ施設モシテ居リ、其ノ外失明軍人ニ對シテハ失明軍人ニ對シテノ職業再教育ヲモ致シテ居ルト云フヤウナ譯デア

リマス、國直接ニ行ツテ居リマスモノノ外ニ、更ニ各府縣ヲシテ國庫カラ助成ヲ致シマシテ或ハ農業、工業、商業等各方面ニ關スル職業再教育ノ施設ヲ實施セシメツツアルヤウナ現況デゴザイマス、此ノ事柄ニ付キマシテハ今後傷痍軍人ノ數ノ増加致シマスルニ伴ヒマシテ、更ニ其ノ施設ノ内容ヲ充實シ、擴充ヲ圖ツテ行カケレバナラヌト思ツテ居ルノデアリマス、更ニ傷痍軍人ノ保護對策ノ一ツト致シマシテ、適當ナル配偶者ヲ斡旋スルト云フコトノ大切デアリコトモ是亦仰セノ通りデアリマス、此ノコトニ付キマシテハ政府ガ自ラ此ノ實際ノ仕事ニ携ハリマスルコトハ中々困難ナ實情ガゴザイマスカラ、此ノ方面ノ事柄ニ關シマシテハ特殊ノ團體方面ニ呼ビ掛ケマシテ、其ノ團體ノ活動ニ依ツテ主トシテ此ノ方面ノ施設ノ徹底ヲ期シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、即チ大日本婦人會、又傷痍軍人會、是等ノ團體ヲ中心ニ致シマシテ、此ノ方面ノ施設ニ邁進スルヤウ協力ヲ願ツテ居ルノデアリマシテ、現ニ是等ノ團體ニ於キマシテ、傷痍軍人ノ爲ノ結婚相談所ヲ全國ニ六、七十箇所モ既ニ設ケテ居ルト記憶スルノデアリマス、隨ヒマシテ是等ノ結婚相談所ニ於テ今日マデニ取扱ツテ、サウシテ立派ナル成果ヲ收メ、傷痍軍人ノ本當ノ理解者トシテ、又傷痍軍人ノ手足トシテ、又一面傷痍軍人ノ心ノ糧トモナリ得ルヤウナ人ヲ配偶セシメテ居リ、成績モ相當ニ擧ツテ居ルヤウニ考ヘテ居リマス、此ノ方面ノコトニ付キマシテハ、更ニ今後モ大イニ努力ヲシテ参リタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

能、要保護ノ人ニ對シマシテハ、是ガ保護ノ完璧ヲ期シマシテ、國民感謝ノ赤誠ヲ表スル所ノ諸施設ニ萬遺憾ナキヲ期スベキデアルト存ジマスガ、此ノ點ニ付テ政府ハ如何ナル御施策ニ相成ツテ居ルカ、又戰歿者ノ遺兒弟妹ノ育英ニ付キマシテハ、昨日拜承致シマシタノデ之ヲ省キマス、併シナガラ寡婦教員養成事業、特設教員トデモ申シマスカ、アレ等ノ人達ガ貞節ヲ守リ通シテ、日本婦人ノ眞精神ヲ立デント致シマスル健氣ヲ氣持ニ免ジマシテ、ドウカ萬全ノ御傾倒ヲ切望スル次第デアリマス、此ノ二點ニ付テ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

○藤原政府委員 傷痍軍人ノ醫療保護ニ付テノ御尋ネデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、現在政府デ行ツテ居リマスル施設ノ極ク概要ヲ此ノ機會ニ申上ゲタイト思ヒマス、傷痍軍人ノ醫療保護ノ爲ニハ、傷痍ノ種類、疾病ノ種類ニ應ジマシテ、ソレノ之ニ適應スル所ノ醫療施設ヲ實施致シテ居ルノデアリマス、即チ今日最モ其ノ中ニ於テ量的ニ多數ニ上ツテ居ルモノハ結核ノ患者デゴザイマシテ、是等ニ對シテハ結核療養所ヲ施設致シテ居リマス、其ノ他精神病ニ對シテノ精神療養所、頭部戰傷者ニ對シテノ頭部戰傷療養所、脊椎損傷者ニ對シテノ脊椎療養所、斯様ナ各種ノ醫療施設ノ外ニ、特殊ノ疾病ニ關スル所ノ特殊ノ療養所ヲモ今日計畫致シテ居ルノデアリマス、即チソレハ癩療養所デゴザイマス、併シ是ダケデハマダ不十分ノ點ガゴザイマスノデ、明年度ノ施設ヲ致シマシテ、更ニ脊椎結核ニ對スル所ノ療養所ヲ新設スル計畫ヲ以テマシテ、十八年度ノ豫算ニ御要求ヲ申上ゲタイナ譯デアリマス、以上

○伊藤(東)委員 更ニ又不幸ニシテ再起不能、要保護ノ人ニ對シマシテハ、是ガ保護ノ完璧ヲ期シマシテ、國民感謝ノ赤誠ヲ表スル所ノ諸施設ニ萬遺憾ナキヲ期スベキデアルト存ジマスガ、此ノ點ニ付テ政府ハ如何ナル御施策ニ相成ツテ居ルカ、又戰歿者ノ遺兒弟妹ノ育英ニ付キマシテハ、昨日拜承致シマシタノデ之ヲ省キマス、併シナガラ寡婦教員養成事業、特設教員トデモ申シマスカ、アレ等ノ人達ガ貞節ヲ守リ通シテ、日本婦人ノ眞精神ヲ立デント致シマスル健氣ヲ氣持ニ免ジマシテ、ドウカ萬全ノ御傾倒ヲ切望スル次第デアリマス、此ノ二點ニ付テ御所見ヲ承リタイト思ヒマス

ハ疾病ノ方面ニ對スル療養ノ施設デアリマスガ、怪我ヲ致シタ方面ノ傷痍軍人ニ對スル療養施設ヲ致シマシテハ、全國溫泉地ニ十箇所ノ溫泉療養所ヲ作ツテ居ルヤウナ譯デゴザイマス、是等ノ政府直接ノ療養施設ノ外ニ、是等ノ施設ニモ入りキレナイ場合モアリマス、又人ニ依ツテハ是等ノ療養施設ニ入レルコトガ困難デアルト云フ事情ニアル者モゴザイマスノデ、ソレ等ノ人ニ對シテハ、公私立ノ病院、若クハ開業醫ノ手ニ依ツテ醫療ヲ受ケ得ラレルヤウナ施設ヲ致シテ居リマス、即チ委託療養、若クハ居宅療養ト申シテ居リマスガ、ソレヲモ行ツテ居ルヤウナ次第デアリマス、醫療方面ノ今日實施致シテ居リマス狀況ハ大體左様ナモノデゴザイマス

○伊藤(東)委員 色々御配慮ヲ賜ハリ洵ニ

忝ク存ジマス、謹シテ尙ホ其ノ萬全ヲ期シマシテ遺憾ナキヲ期セラレルヤウ御考慮ヲ此ノ機會ニ御願ヒ申上ゲテ置キマス

(渡邊委員長代理退席、委員長着席)

最後ニ私ハ心底カラ大臣ニ御願ヒヲ致シタインデアリマス、軍人援護精神ノ昂揚或ハ軍人援護ノ事業、是等ノコトハ實ニ多種多樣デアリマシテ、定メテ日夜御配慮ヲ蒙ツテ居ルコトト存ジマスガ、一面ニ於キマシテハ、日夜御多忙デアラセラルニモ拘ラズ、行政簡素化デオ人減ラシニ相成リマシテ、一層御多忙ニ相成ツタコトト思ヒマス、ソコニ神ナラス身ノ又拔ケル所ガアリハシナイカ、斯ウ考ヘテ参リマス、私ハ切ニ大臣ニ御願ヒ申上ゲタイコトハ、殊ニ援護事業ニ付キマシテハ、今御係ノ方ガ他日地方ヲ御視察ニ相成リマスル時ニ、假ニ五日間ノ御視察ノ日取デアリマシタナラバ、其ノ中ノ二日位ヲ御割キ下サイマシテ、親シク軍人遺家族ノ家ヲ御訪ネヲ蒙リマシテ、其ノ實情ヲシツカリト限ナキ所マデ御視察ヲ蒙リタイ、率直ニ申シマスレバ水戸黃門様ノ如キ態度デ一ツ實情ヲ御視察ヲ蒙ルヤウニ御取計ラヒテ御願ヒ申上ゲルノデアリマス、此ノ點ニ付テノ御所見ヲ承レバ幸甚ト存ジマス

○小泉國務大臣 只今仰セノ點ハ洵ニサウアラネバナライト存ジテ居リマス、從來トテモ出來ルダケ軍人遺家族ノ方々ヲ御訪ネシ、其ノ實際ノ生活ニ直面致シタイト考ヘテ居リマスルガ、今後ニ於キマシテモ一層御話ノヤウニ處置ヲ致シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○伊藤(東)委員 之ヲ以テ打切りマス、有難ウゴザイマシタ

○清水委員長 星一君

○星委員 時間ノ節約上極メテ簡單ニ要點ヲ擧ゲテ質疑ヲ致シマス、厚生大臣ノ管理ニ屬スル軍事保護院ノ任務ハ、傷痍軍人ノ保護ニ關スル事項、其ノ遺族ノ保護ニ關スル事項、其ノ家族ノ保護ニ關スル事項、其ノ他軍人保護ニ關スル事項、此ノ四ツデアルヤウニ承知シテ居リマス、サウシテ軍事保護院ノ分課規程ノ援護ニ於ケル三ツノ事項中ノ其ノ一ツノ育英助成ニ關スル事項ニ關シテ伺ヒタイノデアリマス

人間ハ子孫ヲ斷ヤサナイ爲ニ此ノ世ニ生レテ來タト言ハレテ居リマス、人間死後ニ極樂ヘ行ク、地獄ヘ行クト言ハレテ居リマスガ、ソレハ死ヌ時ニ子孫ニ對スル安心ノ如何ニ依ツテ、極樂ニモ地獄ニモナルト考ヘテ居リマス、全國民ヲシテ安心立命ノ地ニ立タシメ、全國民ヲ擧ゲテ極樂ニ送り得ルハ厚生省ノ任務ニアルト思フノデアリマス、厚生省ノ任務重且ツ大ナリト言フベキデアリマス、近時ノ厚生省ノ施設、抱負ニ對シテ私ハ最高ノ敬意ヲ表シテ居リマスカラ、一段ト御奮發ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレハ此ノ傷痍軍人ノ子孫ノ教育デアリマス、此ノ軍事保護院ノ分課規程ノ育成、助成ニ關スル事項ト云フノハ、傷痍軍人ニ關スルヤウニ思ハレルノデアリマス、併シ傷痍軍人ニ限ラズ、此ノ中ニハ戰歿軍人ノ遺族ノ教育、育英ニ關スルコトモ含メルノガ當然ダト思フノデアリマスガ、其ノ子孫ノ教育ノ爲ニ、軍事保護院ガ一億圓ハオホカ、二億、三億、五億、十億モ大キナ金ヲ是ガ爲ニ支出スルト云フコトニ考ヘテ頂戴シタイノデアリマス、所謂教育費ノ給付ト言ヒマス、併シ私ハ補助ヲシロト云フコトヲ言

フノデアリマス、恩惠的ニ與ヘル補助必ズシモ良イモノデアリマス、ヤハリ自助的精神ガ必要デアリマスカラ、是等ニハ十分ナル教育費ヲ貸付ケテ貰ヒタイ、金利ハ極メテ安く、或ハ無利息デ貸付ケテ貰ヒタイ、サウシテ戰歿軍人モ、傷痍軍人モ、自分ノ子孫ノ教育ハ軍事保護院ガ引受ケテ呉レルト云フ安心ヲ以テ、子孫ニ大キナ期待ヲ持ツテ死シテ行ケルヤウニシテ行クマデニ進メテ頂戴シタイ、サウシテ學校ニ入學スル時ニハ、是等ノ學生ニ優先的ニ希望ノ學校ニ入り得ルヤウニ、之ヲ助ケテ行ツテ貰ヒタイ、現在ノ學校ノ入學試験ハ競争試験ニ依ツテ入學スルコト云フコトニナツテ居リマスガ、戰歿軍人、傷痍軍人ノ家庭ト見合ハシテ、ソレ等ノ先祖傳來ノ家業ヲ繼續シテ行ケルヤウニ、ソレ等ノ希望ノ學校ニ入ル時ニハ優先的ニソレヲ考ヘテヤルト云フコトマデ御考ヘ下サツテ、サウシテ全國民ヲ安心立命ノ所ヘ置クト云フコトマデニ厚生省ハ此ノ軍事保護院ヲ擴大ト云ヒマス、改善ト云ヒマス、ソコマデ進メテ貰ヒタイト云フコトヲ御願ヒシタイト思ヒマス、之ニ對スル大臣ノ御所見ヲ伺フコトガ出來レバ幸福ト存ジマス

○小泉國務大臣 軍人遺族ノ育英ト云フコトニ對シマシテハ、昨日此ノ委員會ニ於テモ申上ゲマシタ通り、今日相當施設ハ致シテ居リマスガ、昨日委員ノ方カラノ御話ニ依リマスレバ、マダ〳〵此ノ點ヲ充實スル餘地ガ多イヤウニ拜承致シマシタノデ、私ト致シマシテハ昨日申上ゲマシタ通り軍人ノ遺族、孤兒等ノ育英ト云フコトニハ徹底シタ方策ヲ速カニ運ラシタイト考ヘテ居ル次第デアリマシテ、其ノ方法等ニ付キマ

シテハ篤ト從來致シテ居リマスル成績等ヲモ勘案致シマシテ、私善處致ス、斯ウ云フ決意ヲ持ツテ居リマス

○星委員 私昨日缺席シマシテ、其ノコトヲ聽漏ラシタノデアリマシタガ、今ノ御答辯洵ニ感謝シマス、サウシマス此ノ軍事扶助法ト云フモノノ改正ガ私ハ必要デハナイカト思ハレマス、軍事扶助法ノ第一條ハ「傷病兵、其ノ家族若ハ遺族又ハ下士官兵ノ家族若ハ遺族ハ本法ニ依リテ之ヲ救助ス」トアリマシテ、戰歿者ヲ之ニ含メナイヤウデアリマスガ、是ハ戰歿者ハ含マツテ居ルノデゴザイマセウカ、若シ含マツテナイナラバ戰歿者モ入レテ、今ノ育英助成ニ關スル事項ヲ大ニ擴大シテ欲シト思フノデアリマスモウツハ、是カラセツノ海ニ活躍スル船員ガ、船ノ沈没ニ依ツテ怪我ヲシタト云フヤウナ船員モ、或ル意味ニ於テハ海軍軍人ト同ジヤウニ、此ノ軍事扶助法ノ中ニソレノ援護ヲ加ヘルコトモ私ハ必要デハナイカト思ハレマス、ドウシテモ日本ハ海ニ發展スル國デアアル、サウシテ是カラセツノ海ニ活躍スベキコトハ日本ノ使命トモ存ジマス、此ノ點ニ付テモ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○高辻政府委員 軍事扶助法ノ第一條ノ規定ヲ御援用ニナツテノ御質問デアリマスガ、戰死軍人ノ遺族ハヤハリ此ノ法律ニ依ツテ扶助ヲ受ケルコトニナツテ居リマス、但シ御尋ネノ中ニゴザイマシタ育英ノ事柄デゴザイマスガ、是ハ軍事扶助法ノ規定トハ別ニ豫算ヲ要求致シマシテ、相當ノ施設ヲ致シテ居ルノデアリマス、尙ホ此ノ豫算ヲ以テ不足スルヤウナコトデゴザイマスレバ、更ニ追加計上、其ノ他適切ニ善處致シタイ

ト考ヘテ居リマス、尙ホ船員ノ保護ノ件デゴザイマスガ、是ハ軍事扶助法トハ又別個ニ考慮サルベキ問題デアラウカト思ツテ居リマス

○星委員 私ハ是デ終リマス

○清水委員長 田中君

○田中(藤)委員 伊藤委員ノ熱心ヲ御質問ニ依リマシテ大體私ノ聽カントスル所ハ盡キテ居リマスガ、唯事務的ナ問題デニ、三御伺ヒ致シタイ、先ヅ扶助額ノ増額ノ問題デアリマスガ、是ハ敢テ質問ト云フノデハナクシテ、都市ニ於ケル現狀ヲ申上ゲテ御考慮ヲ仰ギタイ、都市ニ於テハ、特ニ大阪、東京ナドニ於テハ、此ノ最高額七十錢デハ困ルデハナイカ、勿論遺家族自身ニ於テハ決シテソレヲ殖ヤセト云フヤウナ要望ハ致シマス、唯近所ノ親切ナ人達ガ相寄ツテ、其ノ人々ノ日常生活ヲ考ヘテ居ル時ニ、ドウモ是デハオ氣ノ毒ダ、殊ニ一面ニ於テ時局産業ニ依ツテ豊カナ面ガアリ、潤ヒノアル面ガアルコトガ目ニ付クニ連レテ、ドウシテモ是ハモウ少シ國家トシテ何トカシテ上ゲナケレバナラヌノデハナイカト云フ空氣ガ非常ニ強イノデアリマス、少クトモ一圓位ガ相當デヤナイカト云フノガ、銃後奉公會ニ於ケル第一線ニ活躍シテ居ル町會ナドノ役員ノ一致シタ要望デアルト云フコトヲ特ニ御留意ヲ仰イデ置キタイ、ソコデ私ハ質問ニ入りマスルガ、軍事扶助受給者ノ對象ノ問題デアリマスルガ、規定上ハ問題ハナイノデアリマス、所ガ其ノ規定ノ運用上、例ヘバ内縁ノ妻デアルトカ、或ハ其ノ私生子ト申シマスルカ、サウシタ家族ニ對スル扶助ガ漏レ易イト云フコトヲ聞イデ居リマス、規定ノ上デハ同一世帯ニアル以上ハ

當然扶助ヲ受クベキト思ヒマスガ、而モサウシタ運用ノ面ニ於テ漏レテ居ルト云フコトヲ聞クコトハドウ云フ點ニアルカト私疑問ヲ持ツテ居ルノデアリマスルガ、此ノ點ニ對スル指導方針ガドウナツテ居ルカト云フコトヲ伺ヒタイ

○高辻政府委員 内縁ノ妻ノ問題デアリマスガ、是ハ今日ノ法制ノ建前カラ致シマシテ、軍事扶助法ニ依ツテ直接保護ハ致シテ居リマスガ、併シナガラ是ハ事實ノ問題トシテ放任スベキモノデハナイト考ヘマスノデ、法律ニ依ル軍事扶助費以外ニ法外援護ニ要スル別途ノ豫算ヲ計上致シテ居ルノデアリマシテ、ソレニ依ツテ法律ニ依ル扶助ニ準ジテ今日扶助ヲ致シテ居リマス

○田中(藤)委員 若シサウ云フコトデアレバ大變結構デゴザイマスルノデ、此ノ點ハ徹底スルヤウニ一ツ御指導ヲ戴キタイト思ヒマス、サウ云フ點ガ下部組織ニ於テハドウモ原則上イケナイノデハナイカト云フ議論ガアツテ、漏レテ居ルヤウニ聞イテ居ルノデゴザイマス、御留意ヲ戴キタイ、ソレカラ其ノ次ニ御伺ヒ致シタイコトハ、家族ニ對スル軍事扶助ガ支給サレテ居ツテ、而モ戰歿ト同時ニ打切ラルト云フコトモ往々アルヤウデアリマス、是ハ規定ノ上カラ言ヘバ戰歿後三月間ハ繼續スルコトヲ得ルト云フコトニ相成ツテ居ルノデ、是ハ問題ハナイト思フノデアリマスルケレドモ、併シナガラ事實ニ於テ打切ラレタ例ヲ聞イテ居リマスガ、斯ウ云フ點ニ付テノ指導ヲ更ニ徹底強化スベキデハナイカト思ヒマスルガ、其ノ點ノ所信ヲ伺ヒタイ

○高辻政府委員 戰歿致シマシタ爲ニ直チニ扶助ヲ打切ルト云フコトハ、法ノ規定カ

ラ致シマシテモ致シテ居ラナイコトナノデアリマシテ、若シサウ云フコトガアリマスレバ、是ハサウ云フコトノナイヤウニ十分留意ヲ致シタイト思ツテ居リマス

○田中(藤)委員 只今ノ答辯結構デゴザイマスルガ、私統後奉公會ニ關係致シテ居ル第一線ノ方々カラサウ云フ聲ガアツタノデ申上ゲタノデアリマス、萬々サウ云フコトハナイト思ヒマスルガ、更ニ指導ノ上ニ於キマシテ十全ヲ期セラレタイト思ヒマス

○高辻政府委員 扶助費ヲ受領致シマス際ノ委任狀ノ收入印紙ノ件デゴザイマスガ、是ハ只今大藏省ト内々協議致シテ居リマスノデ、實際ノ問題トシテ御趣旨ニ副フヤウニ致シタイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○藤原政府委員 田中委員ノ先程ノ是ハ御希望デアツタヤウニ伺ツタノデアリマスガ、軍事扶助ノ限度ガ今日適當デアルカドウカト云フコトハ、餘程此ノ點ニ付キマシテハ、吾々モ心配致シテ居リマス問題デアリマス、殊ニ都市ニ於キマシテ、果シテ現在デ宜シイカドウカト云フコトニ付キマシテハ、特ニ留意ヲ致シテ居ルヤウナ實情デアリマス、

先刻伊藤委員ノ御尋ネノ際ニ御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、折角今日其ノ實情ノ調査ヲ致シテ居リマスルガ、其ノ結果ヲ待チマシテ、適當ニ善處致シタイト、斯様ニ考ヘテ居リマスカラ、念ノ爲ニ申上ゲテ置キマス

○田中(藤)委員 軍事扶助ノ増額ニ關シマシテハ、是非御調査ノ上速カニ適當ナ御處置ヲ御願ヒ致シタイ、尙ホ委任狀ノ收入印紙ノ問題デアリマスルガ、是ハ大藏省トノ折衝ノ關係モゴザイマセウガ、是非大臣ニ於カセラレマシテモ、是ガ實現スルヤウ御願ヒ致シタイ

ソレカラ最後ニ此ノ法案トハ關係ガゴザイマセウガ、厚生大臣ガ出席デゴザイマスノデ、特ニ御伺ヒ致シタイノデアリマス、是ハ勞務管理ノ問題デ徵用工ニ關スル問題デゴザイマスルガ、既ニ各委員會ニ於テ相當議論ガ盡サレテ居リマスルカラ、私ハ簡單ニ申上ゲマスルガ、徵用工ノ徵用後ニ於ケル指導ト組織ノ問題、現在ニ於テハ工場ノ勞務管理ニ任サレテ居リマスガ、是デハ十分デナイト云フノガ輿論デアリマス、ソコデドウスルカト云フコトデアリマスガ、

之ニ對スル指導、組織ニ付テハ所謂軍紀軍律ニ準ズベキ指導ト組織ヲ與ヘ、同時ニ配屬將校ヲ以テ其ノ訓練指導ノ第一線ニ立タシムベキデハナイカト云フ意見モゴザイマスルノデ、此ノ點ニ對スル所信ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○小泉國務大臣 徵用工ノ鍊成訓練、或ハ補導問題ニ關シマシテハ今回徵用工云フコトノ國家性ヲ明確ニスルコト云フ目的カラ致シマシテ、責任者以下工員全部ガ集リマシタ一ツノ組織ヲ考ヘ、之ニ依ツテ各ノ職規ヲ嚴ニシ、風紀ヲ匡シ、サウシテ服從命令

ト云フヤウナコトヲハツキリ致スト同時ニ、又信賞必罰ト云フ所ヲハツキリ致シマシタ一ツノ組織體ト致スベク只今準備致シテ居リマス、之ニ伴ヒマシテ訓練ト云フコトノ徹底モ行ハレルト考ヘテ居リマス

○田中(藤)委員 是非其ノ組織ト指導ニ付テハ速カニ實現セラレルヤウニ御願ヒ致シタイト思ヒマス、要スレバ現役將校ヲ配屬セラレマシテ、其ノ訓練ノ指導ニ當ラシメルト云フコトガ適當デナイカト存ジマスノデ、之ヲ御願ヒシテ置キマス、是デ私ノ質問ヲ打切りマス

○清水委員長 山崎君ヨリ質疑ノ通告ガアリマシタ、時間ノ關係上極ク簡單ニ願ヒマス

○山崎(常)委員 私ハ軍事保護院ノ關係ノコトニ付テ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、軍事保護院ノ事業ニ付テハ私モ數箇所實地ニ見テ參リマシタガ、多種多様ノ仕事ヲ致シテ居リマス、併シ今日ノ時局デ其ノ仕事ハ、是ハ現ニ直接指導シテ居ル人ノ言葉デマスガ、中々困難ノヤウデアリマス、ト申シマスノハ、申スマデモナク是等ノ指導ヲ受ケル人ハ素人バカリデアリマスノデ、一ツノ仕事ヲ教ヘマシテモ直グ色々家事ノ都合デ事業場ヲ出ルト云フコトニモナリマス、旁、一ツノ仕事ガ見付カリマシテモ今日ノ資材ノ關係上、其ノ仕事ヲ覺エテ貰ツタト思ツタラ、今度ハ資材ノ配給ヲシテ戴ケナイ、斯ウ云フ工合ニナリマシテ、實陸直接指導ニ當ツテ居ル者ハ全的ニ困ツテ居リマス、過日モ實際ヤツテ居ル仕事ノ統計ヲ見マス、大體ハ女デスカラ、裁縫ノ方ガ多い、或ハ藥ノ袋ヲ縫ツテ居ル、色々ノ方面ノ仕事ヲヤツテ居ル、所ガ其ノ方面ノ扶助、救

濟ハ今後益、時局ノ進展スルニ從ツテ激增シテ來マセウシ、先程モ私御願ヒシマシタガ、今モ二三ノ同僚カラモ希望ガアリマシタヤウニ、勞働者ノ方面、或ハ海上勞務者ノ方面ノ家族モソレニ包含シテ救済スル方法ハナイカト云フ意見モ出テ居ル次第デアリマス、此ノ軍事保護、或ハサウ云フ方面ノ救済事業ト云フカ、扶助事業ト云フカ、是ハ益々増加シテ來ルと思ヒマスノデ、増加スルニ從ツテ仕事モ益々困難ニナツテ來マス、是ハ何カ保護院ト致シマシテハサウ云フ慣レナイ素人ニ出來ル仕事ヲ將來統一的一ニ元化シテヤラス方法ヲ御考ヘニナツテ居ルカドウカ、其ノ點ニ付テ御意見ヲ伺ヒタイ

○高辻政府委員 軍人ノ遺族、家族ニ對シテノ授産ノコトデアリマスガ、是ハ只今御意見ノアリマシタヤウニ、實ハ中々困難ナ事情ガアルノデアリマス、生活ノ態様が種種難多デ、家庭ノ狀況モ色々違ツテ居ル、而モ今御話ガアリマシタヤウニ、資材其ノ他ノ關係カラ其ノ授産事業ヲ長ク繼續シテ行クト云フコトニ於キマシテモ、種々困難ヲ感ジテ居ル譯デアリマス、併シナガラ如何ナル困難ガアリマセウトモ、折角色々工夫ヲ致シマシテ、此ノ授産ト云フコトニ依ツテ生活ヲ自立自營サシテ行クコトハ非常ニ肝要デアルト存ジマシテ、實ハ保護院ト致シマシテ色々努力ヲ致シテ居ル譯デアリマス、今各地デヤツテ居リマス授産事業ノ中デ、今日マデノ狀況ヲ考ヘテ見マスト、只今仰セニナリマシタ裁縫ノ仕事ガ比較的多いノデアリマス、是ハ特ニ又軍ノ方カラ委託ヲ受ケマシテ、軍需用ノ色々物ノ裁縫ヲスル、或ハ軍手ヲ製作スル或ハ襟章、其ノ他ノ作業ヲ致スト云フコトヲヤラ

シテ居ルノデアリマスガ、是等モ動モ致シマス、其ノ材料ガズツト繼續ニ參リマセヌヤウナ譯デアリマシテ、其ノ作業ガ中斷サレル、或ハズツト同ジヤウナ歩調ヲ以テ進メラレナイト云フコトモアルノデアリマシテ、斯ウ云フコトニ付キマシテハ近來軍需ノ作業ノミナラズ、折角機械作業場等ガ施設サレテ居ルノデアリマスカラ、其ノ地方ノ一般民需ノ方面ノ需要モ引受ケテ、事業ガズツト續ケラレテ行クヤウニ近來ハ指導致シテ居ル譯デアリマス、尙ホ更ニ農村方面ノ副業ノ指導ト云フコトガ又非常ニ必要ナコトデアルト存ジマスノデ、各府縣ニ授産協會ト云フ團體ヲ組織サセマシテ、農林省ノ副業ニ關スル團體ト緊密ナル連絡ヲ取ラセマシテ、其ノ地方々々ノ事情ニ適合スルヤウナ副業ヲ獎勵指導致シテ居リマス、併シ是モ今御話ノアリマシタヤウナ趣旨ノ困難ガ伴フノデ、成ベク原材料ガ其ノ地方ニアルモノデ、又家庭作業ノ出來ルモノ、或ハ比較的小設備ノ共同作業所ニ於テ行ヒ得ルヤウナ副業ヲ現ニ指導致シテ居リマスシ、來年度以降ニ於キマシテモ、特ニ此ノ方面ニハ力ヲ注イデ參リタイト思ツテ居ルノデアリマス

尙ホ船員ノ家族等ノコトニ付テ御意見ガゴザイマシタガ、是ハ保護院ガ計畫シ施設致シテ居リマス、又地方ニ於テ保護院ノ指導ノ下ニ作ツテ居リマス授産場ハ、先ヅ軍人ノ遺族、家族ヲ主ニ指導致シテ居リマスガ、若シ施設ニ餘力ガアリマスレバ御話ノヤウナコトモ能ク考慮致シマシテ、船員等ノ家族モ餘地ガアリマスナラバ、之ヲ收容スルコトモ差支ヘナイカト思ツテ居ルノデアリマス

○山崎(常)委員 仰セノ如クニ此ノ仕事ハ實ニ多種多樣デアリマシテ、困難デアルコトハ私共具サニ見テ參リマシタノデ、御指導ニ中央地方ノ方々ガ御骨折ノ一方ナラザル點ハ御推察申上ゲル次第デアリマス、私ガ見テ參リマシタ時ニ軍ノ仕事、或ハ今御話ノ如ク民ノ仕事ヲ相兼ネテ仕事ガアレバ何デモヤル、軍手ノ仕事ナドハ實ニエライ、實際年若イ女ノ人、或ハ年寄ガアノ機械ヲカラ／＼廻ハシテヤツテ居リマスガ、是ハ迎モエライト思ヒマシタ、ソレカラ汚レタ繭ヲ眞綿ニ伸バス、是モ冬ナドハ手ガ萎ビテ迎モ出來ナイト云フヤウナ現狀デアリマスガ、是モ各方面デヤツテ居リマス、是ハ一例デアリマスガ、實ニ多種多樣デアリマス、ソレカラ「ミシン」ヲヤツテ居リマスガ、此ノ「ミシン」ハ相當ニ下ヲ冷ヤスト云フヤウナ點モアリマスノデ、將來ノオ母サントシテノ體質ニ非常ニ影響致シマス、ソレデ私共第三者デモ、出征軍人ノ遺家族ノ方方ガ歎々トシテ働イテ居ル實際ヲ見マシタナラバ、涙ガ出ルヤウナ感ジガ致シマス、是ハ何トカ國家ガ、サウ云フヤウナ功勞ノアル人達ノ家族ヲ、モウ少シ優遇トハ行キマスマイケレドモ、後顧ノ憂ヒノナイヤウニ、又出來易イ仕事ヲ與ヘテヤルヤウナ方法ヲ考ヘテ戴カナケレバイカスカト私共考ヘマシガ、中々今ノ時勢デハソレガ見付カラナイ、私共其ノ方ノ一、二ノ顧問トカ、役目ヲ引受ケテ實際ニ當ツテ居リマスガ、中々見當ラナイ、私モ實ハ自分デヤツテ居ル小サイ仕事ヲ、ヤラセ／＼ト言ハレマシテ、不向キダトハ思ツタガ、仕方ナク要求ニ應ジタコトモゴザイマスガ、考ヘマスノニ、是ハ食糧増産ト云フヤウナ餘り骨ノ折レナ

イ——骨ハ折レマスケレドモ、骨ノ折レナイ方法モ出來マスカラ、サウ云フ食糧増産ノ方面ニ統一シテ振向ケルヤウナ方法モ研究シテ戴カナケレバナラスノデハナイカ、是ハ勿論事業ノ性質ガ扶助保護デアリマスカラ、利潤ヲ本ト致シマセヌノデ、食糧増産ノ面ニ導クト云フヤウナ方法モ、御研究ニナル必要ガアリハセスカト、斯様ニ考ヘマス、仕事ノ將來ニ付キマシテ、何カ出來易クシテ骨ノ折レナイヤウナコトデ、保護ニナリ、扶助ニナルト云フヤウナ方面ニ付テ御研究ガゴザイマセウカ、此ノ點ヲ最後ニ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○高辻政府委員 授産場ニ於キマシテノ作業ニハ、女ノ手デハ大變困難ナモノガアルト云フコトデアリマスガ、是ハ只今御指摘ニナリマシタ或ハ軍手ノ作業デアリマスとか、或ハ極ク生地ノ固イ被服ヲ裁斷致シマストカ、女ノ手ニハ中々困難ナモノト思ハレルモノモ實ハアルノデアリマス、是等ニ付キマシテハ、其ノ指導スル方ニ於キマシテ、成ベク體質ニ適合スルヤウナモノヲ充ガフ、同ジク裁縫ト申シマシテモ、比較的簡易ナモノモアリマスガ、非常ニ困難ナモノモアリマスカラ、成ベク體質ニ向クヤウナモノヲ充ガフ、又指導スル上ニ於テモ、易シイモノカラ漸次難カシイ方ニ向ケルト云フヤウニ、何時モ指導致シテ居ルノデアリマス、大體サウ云フ方針ヲ執ツテ居リマス、實情ヲ御覽ニナレバ、只今御話ノアリマシタヤウナ感ジヲ御持チニナル場合モアルカト思ヒマスガ、方針ト致シマシテハ、サウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

尙ホモウ少シ仕事ノヤリ易イモノノ工夫ハナイカト云フ御尋ネデアリマスガ、之ニ付

キマシテハ、先刻申上ゲマシタ授産協會ヲ中心ニ致シマシテ、各府縣ニ於テ授産若クハ副業ト云フ方面ニ付テ適當ナ仕事ヲ出シテ貰ヒマシテ、大體一府縣ニ付テ五種類ヅツノ副業種目ノ選擇ヲ今終ツテ居ルノデアリマス、ソレ等ヲ今實施ニ付テノ研究ヲ進メテ居リマスガ、ヤハリ資材其ノ他ノ關係デ、各府縣ニ於テ選擇致シマシタ五種類ノ中ノ、成ベク着手シ易イモノカラヤツテ貰ヒタイト考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ食糧増産ノ方モ是等ノ勞力ヲ向ケタラドウカト云フ御意見ハ、非常ニ適切ナ御意見ノヤウニ拜聽致シマス、ソレニ付キマシテハ、ヤハリ地方ノ事情ニ應ジマシテ、サウ云フコトモ今後十分研究致シタイと思ヒマス

○山崎(常)委員 此ノ點ニ付キマシテハ、申上グルマデモナク重大ナ問題デゴザイマスノデ、益、御研究下サイマシテ、善處方ヲ此ノ上トモ御願ヒ申上ゲテ置キマス

○清水委員長 軍事扶助法中改正法律案ニ對スル質疑ハ、之ヲ以テ終了致シマシタ、藥事法案外二件ハ、尙ホ質疑ノ通告ハアリマシタガ、今マデ出席セザル入ガ多イノデアリマスカラ、拋棄シタモノト認メマス、但シ重要ナル問題デ、直接三案ニ關係スルコトデアリマシタナラバ、討論ニ入ル前簡單ノ場合ハ御許シスルヤウナコトガアルカモ知レマセス、又委員ノ懇談會ノ結果ニ於キマシテ、委員長カラ特ニ大臣竝ニ政府委員ニ質問スルヤウナ條項ガアリマシタナラバ、是ハ討論ノ前ニ致サウト思ツテ居リマス、大體ニ於テ三案ニ對スル質疑ハ之ヲ以テ終了致シマシタ

尙ホ委員ノ各位ニ御願ヒシタイノデアリマスガ、本日本會議散會後、此ノ部屋ニ於

テ委員ノ懇談會ヲ開キタイト思ツテ居リマス、特ニ理事ノ方ハ御出席ナキ委員ノ方ニ御傳達ヲ願ヒタイト思ヒマス、明日ハ午後一時カラ此ノ第九委員室ニ於テ會議ヲ開キマシテ、若シ質問ガアリマスルナラバ質問、其ノ後ニ於テ討論ニ入リタイト思ツテ居リマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後三時散會

昭和十八年三月四日印刷

昭和十八年三月四日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局